

SoftBank

# 2024年3月期 第3四半期 決算説明会

2024年2月7日

ソフトバンク株式会社

©2024 SoftBank Corp. All Rights Reserved

証券コード：9434

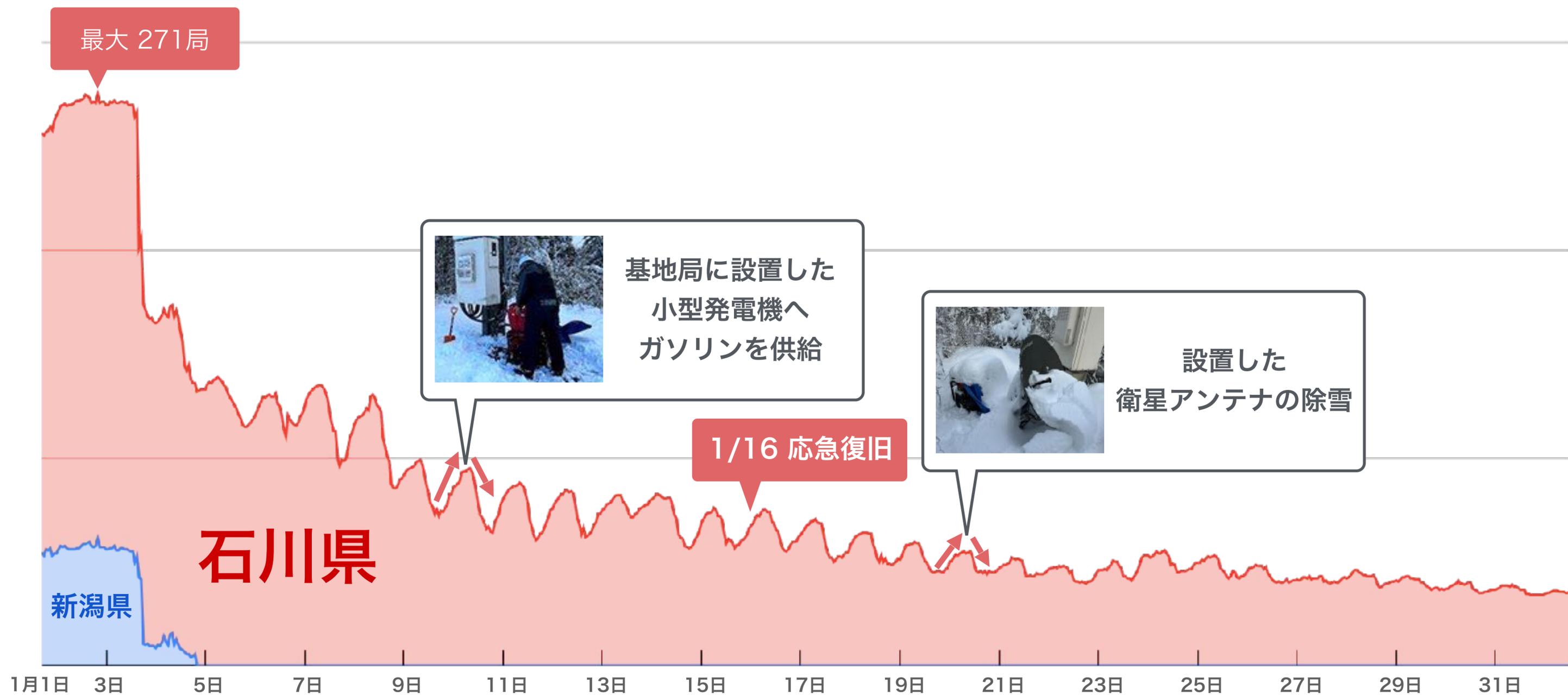
# 免責事項

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなりスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

令和6年能登半島地震で  
被災された皆さまに  
心よりお見舞い申し上げます

# 停波サイト数

## 作業員の到達困難箇所を除く全てのエリアで応急復旧が完了



# 復旧エリアマップ (4G LTE)

発災  
1/1 16時

1月2日

3日

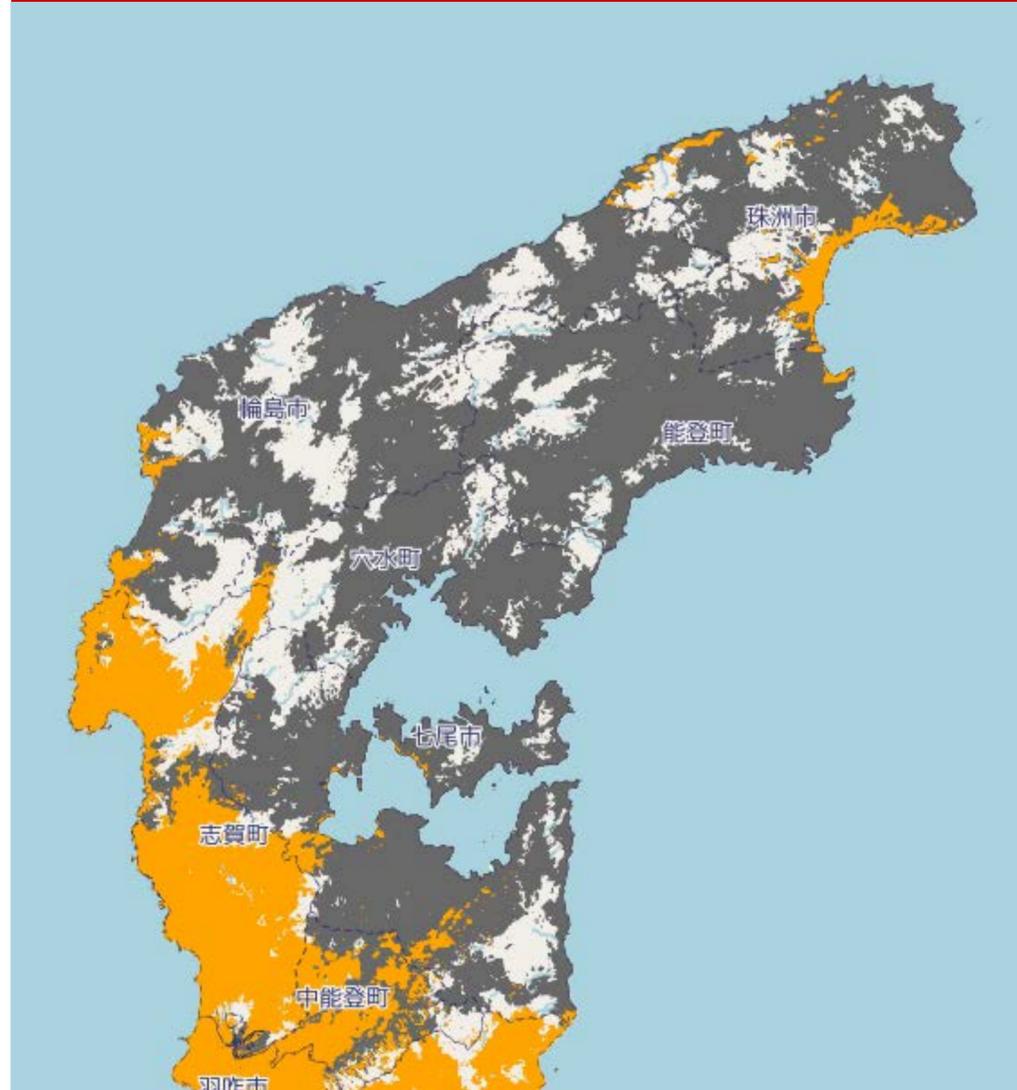
4日

30日

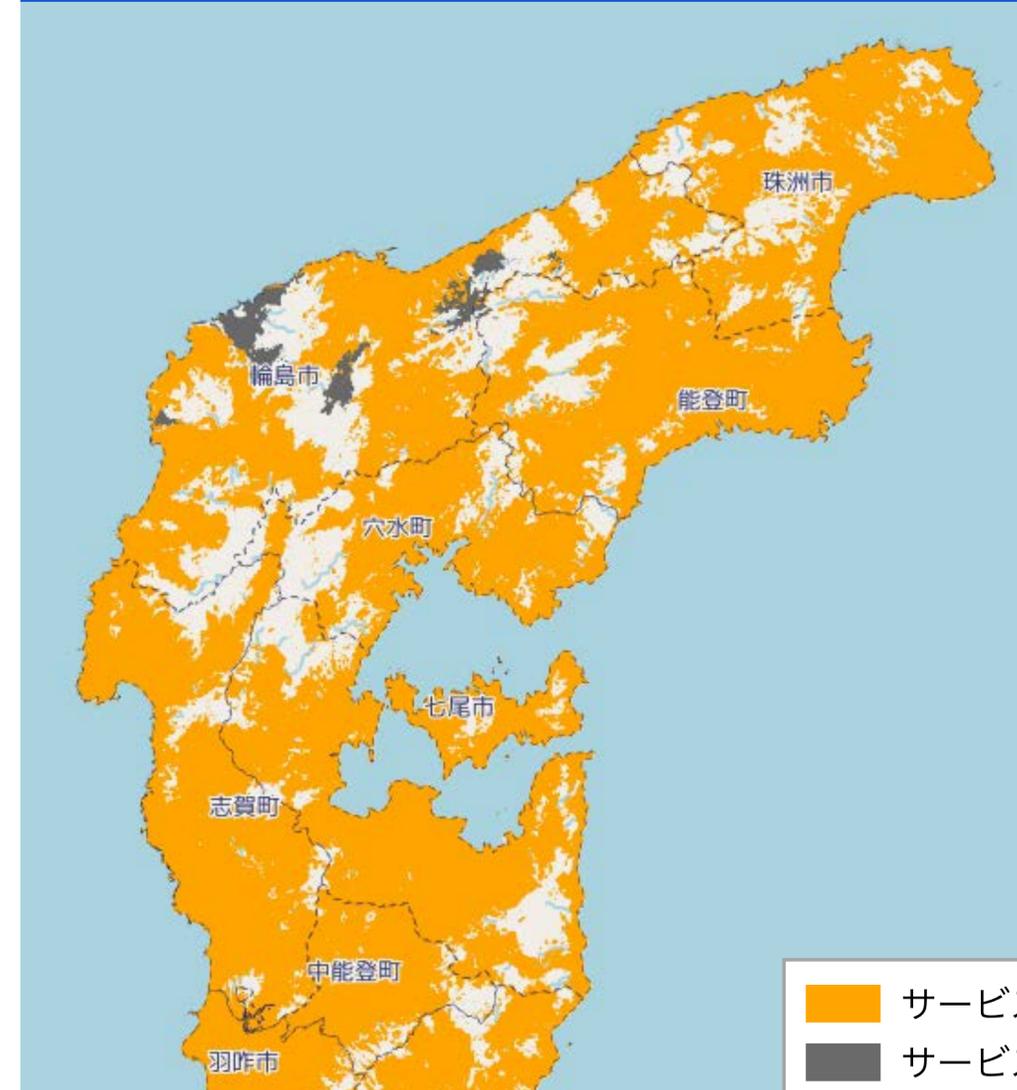
31日

2月1日

1月2日 18時



1月31日 18時時点



サービス提供エリア  
サービス支障エリア

# 通信ネットワークの復旧＋支援活動



**ZOZO** 衣料品の配布



**さとふる** 令和6年1月能登半島地震 災害緊急支援寄付  
さとふるを納税を活用した募金



**LINEヤフー** 被災者・被災地支援を  
目的とした募金

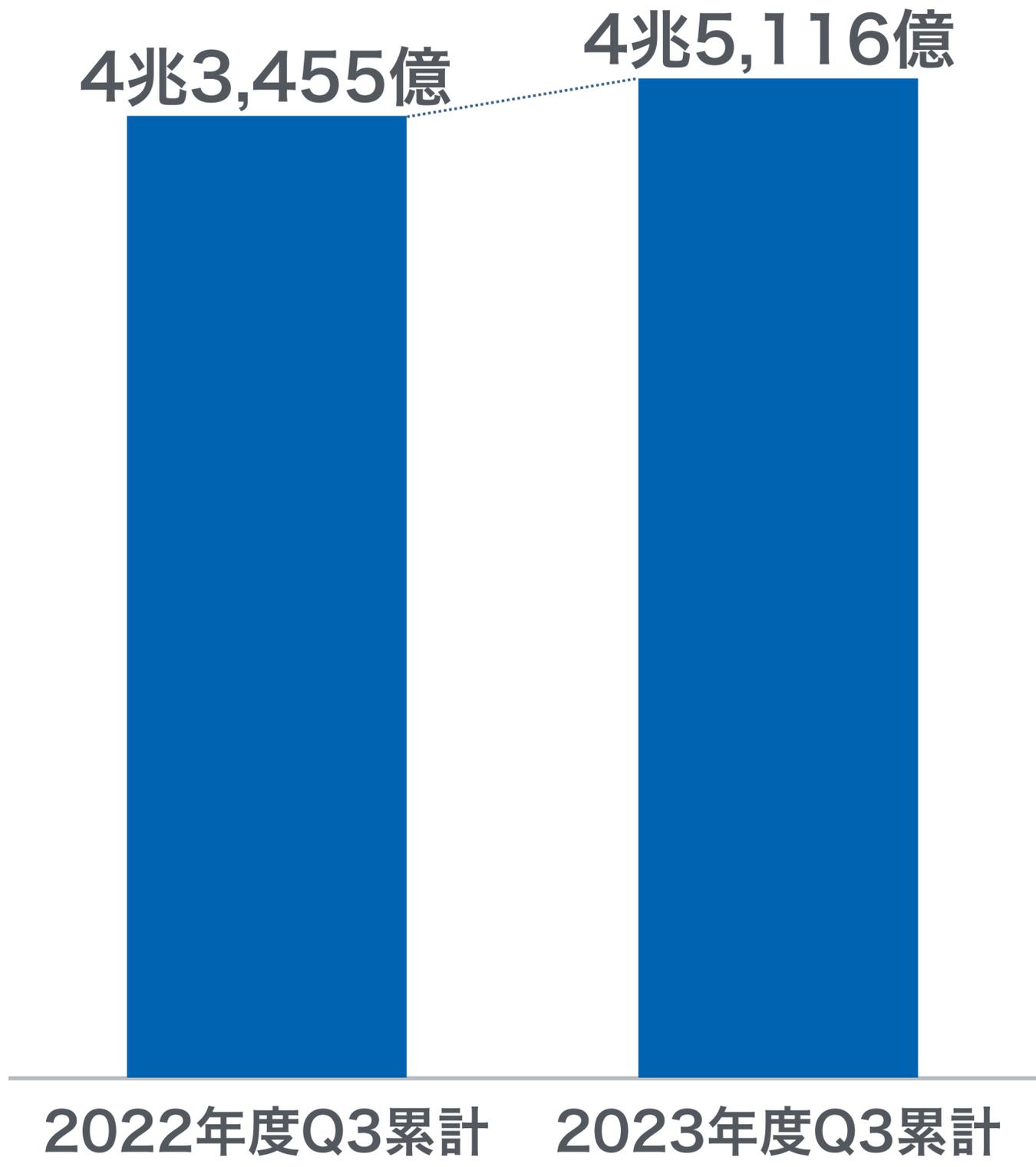


**WOTA** 被災者向けの入浴支援

# 2024年3月期 第3 四半期 連結業績

# 売上高

[円]

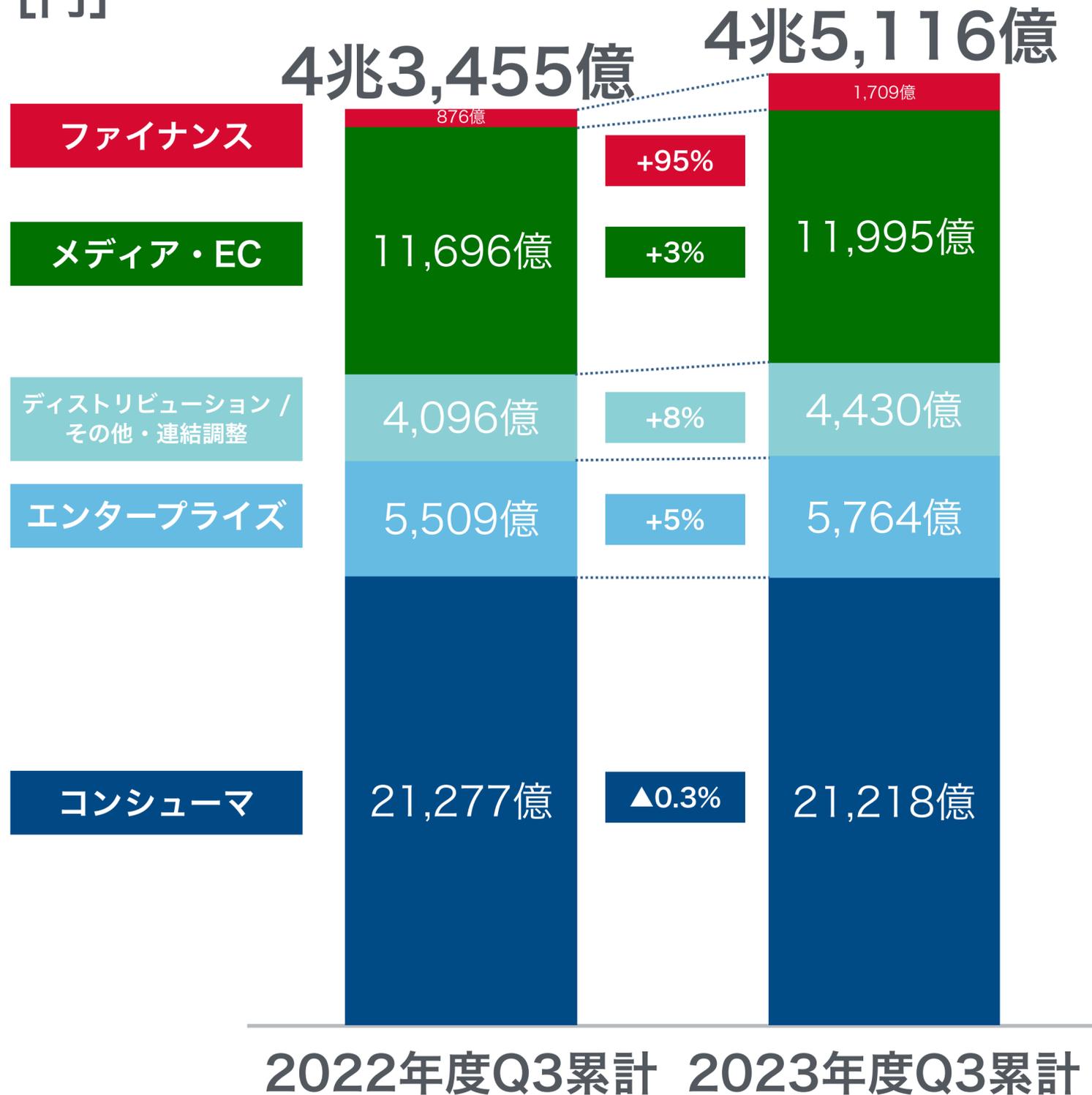


# 4%増収

(注) 本資料では、増減について特に記載のない場合は前年同期比を指します。また端数処理について、特に記載のない場合は表示単位の小数点第一位を四捨五入しています。

# 売上高 セグメント別

[円]

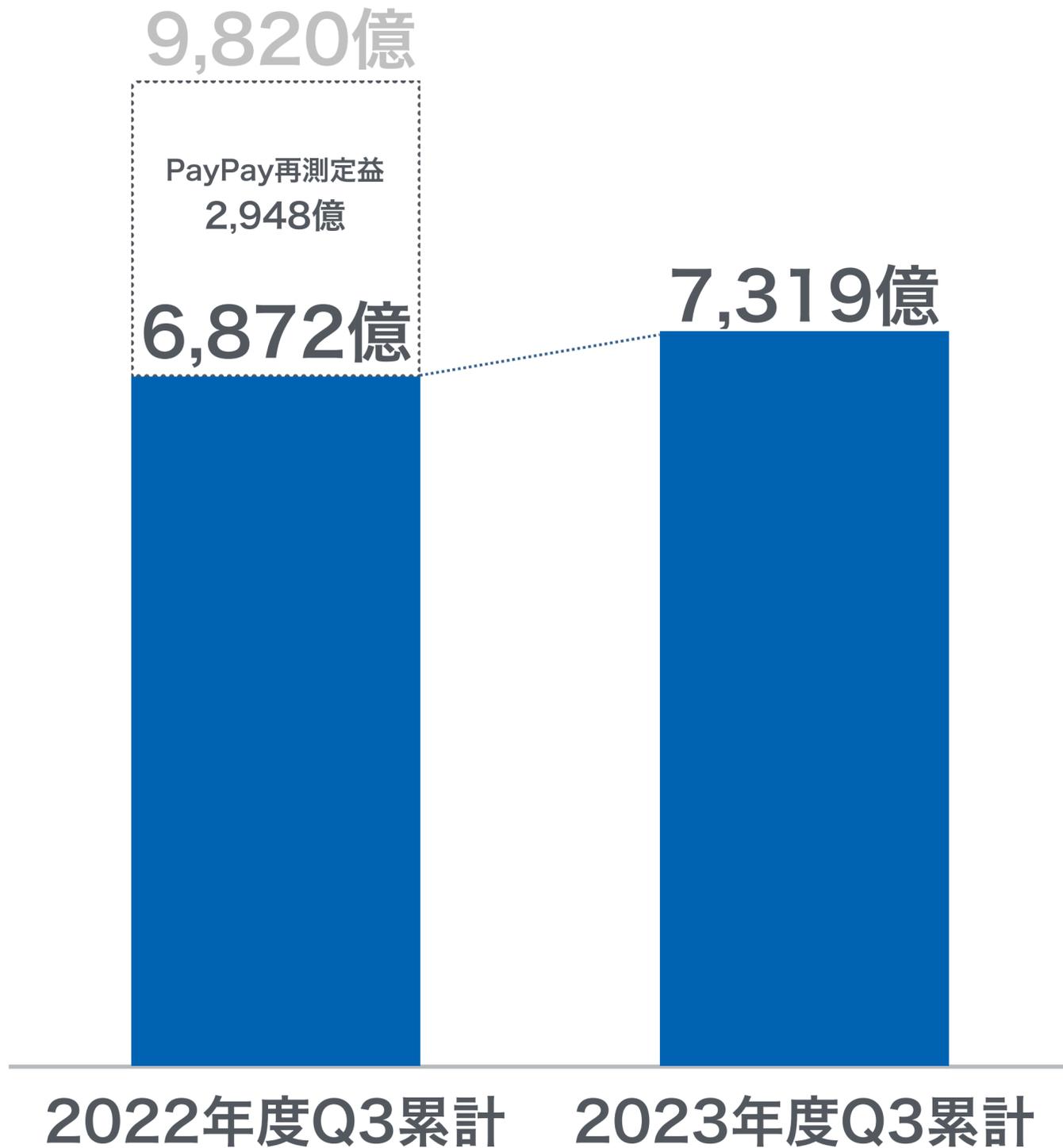


# 4事業が増収

エンタープライズ / ディストリビューション  
メディア・EC / ファイナンス

# 営業利益

[円]

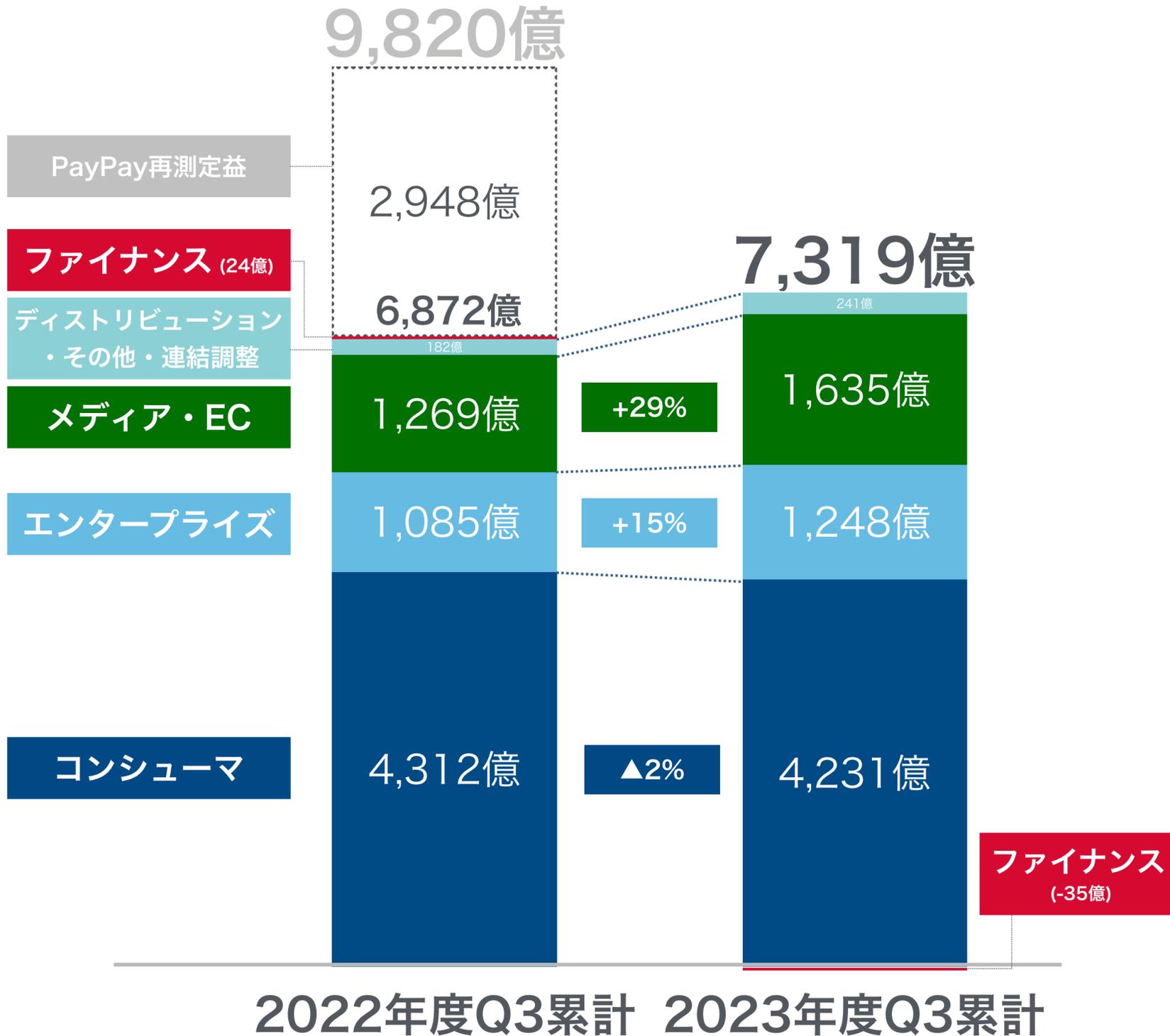


# 7%増益

(PayPay再測定益を含む：25%減益)

# 営業利益 セグメント別

[円]



エンタープライズ、メディア・EC  
**2桁増益**

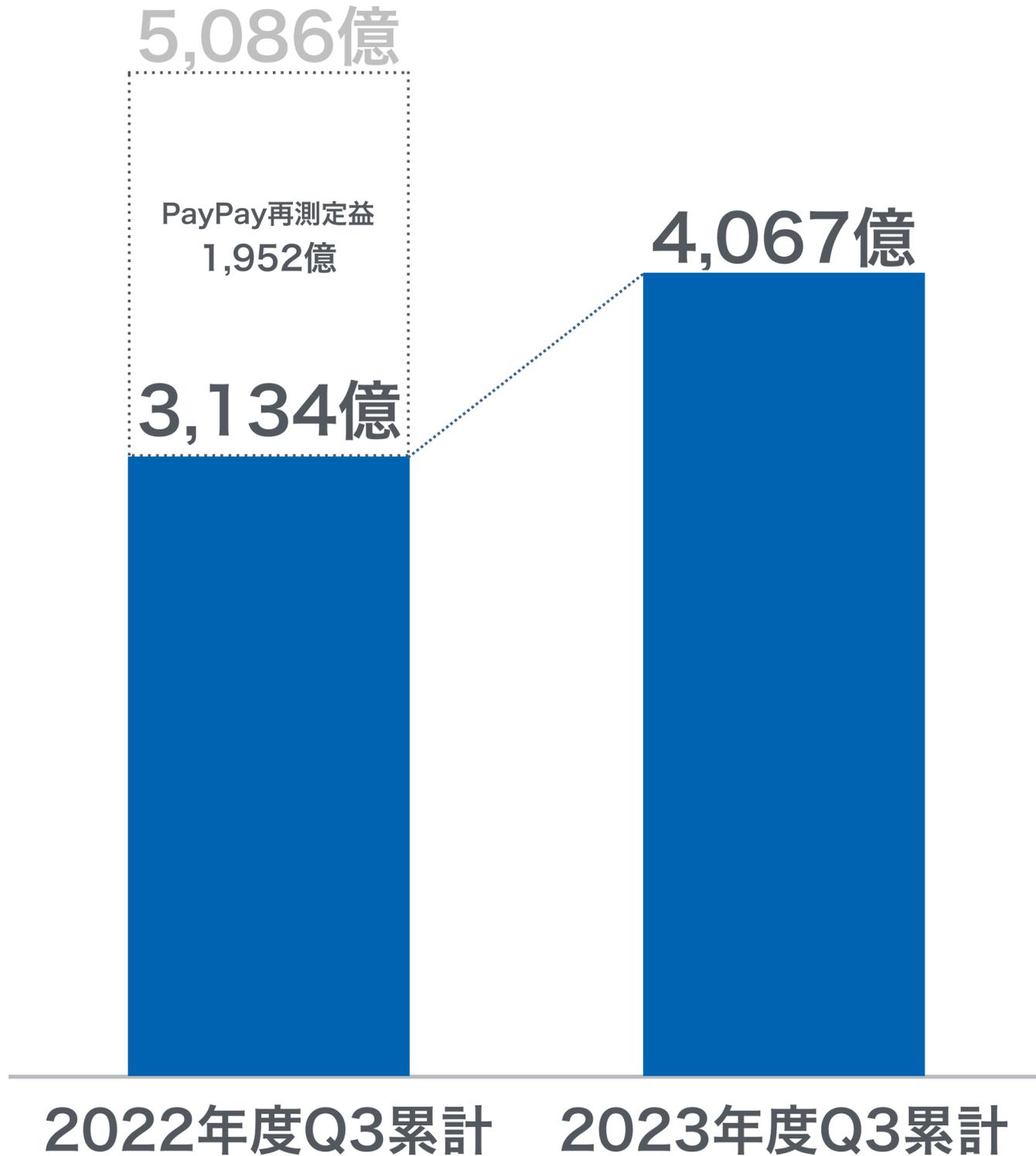
ファイナンス事業は  
**実質増益\***

全セグメント実質増益の  
**年間計画通りに進捗**

※ PayPay(株)を2022年度Q1から子会社化していたと仮定した場合、2022年度Q3累計の営業利益は118億円で83億円改善

# 純利益

[円]



# 30%増益

(PayPay再測定益を含む：20%減益)

# 2023年度 第3四半期 連結業績

[円]

	2022年度 Q3累計	2023年度 Q3累計	増減	増減率
<b>売上高</b>	4兆3,455億	4兆5,116億	+1,661億	+4%
<b>営業利益</b> (PayPay再測定益含む)	6,872億 (9,820億)	7,319億	+448億 (▲2,501億)	+7% (▲25%)
<b>純利益</b> (PayPay再測定益含む)	3,134億 (5,086億)	4,067億	+933億 (▲1,019億)	+30% (▲20%)

# 2023年度 通期業績予想 進捗率

[円]

	2023年度 Q3累計 実績	2023年度 通期業績予想	進捗率
売上高	4兆5,116億	6兆	75%
営業利益	7,319億	7,800億	94%
純利益	4,067億	4,200億	97%

# 2023年度 セグメント別営業利益予想 進捗率

[円]

	2023年度 Q3累計 実績	2023年度 通期業績予想	進捗率
コンシューマ	4,231億	4,700億	90%
エンタープライズ	1,248億	1,525億	82%
ディストリビューション	203億	267億	76%
メディア・EC	1,635億	1,760億	93%
ファイナンス	-35億	-200億	-
その他	38億	-252億	-
全社計	7,319億	7,800億	94%

# 通期業績予想の上方修正について

# 2023年度 通期業績予想

[円]

## 上方修正を実施

	期初予想	今回予想	増加額
売上高	6兆	6.06兆	+600億
営業利益	7,800億	8,400億	+600億
純利益	4,200億	4,620億	+420億

期初予想から+10%

# 2023年度 セグメント別営業利益予想

[円]

コンシューマ / メディア・EC / ファイナンス / 「その他」を引き上げ

	期初予想	今回予想	増加額	要因
コンシューマ	4,700億	4,900億	+200億	純増好調・ARPU見通し改善
エンタープライズ	1,525億	1,525億		
ディストリビューション	267億	267億		
メディア・EC	1,760億	1,950億	+190億	コスト最適化・選択と集中
ファイナンス	-200億	-100億	+100億	販促費の効率化
その他	-252億	-142億	+110億	子会社の売却ほか
全社計	7,800億	8,400億	+600億	

(注) 2023年度通期業績予想(期初予想)は2023年5月公表値です。子会社の売却：当社子会社のSBテクノロジー(株)におけるフォントワークス(株)の株式譲渡に伴い、2023年度Q2に支配喪失に伴う利益を計上 | 7

# 中期経営計画のテーマ (～2025年度)

純利益  
2025年度  
最高益  
(5,350億円)

営業利益  
2021年度  
水準に回復  
(2025年度)

安定した  
調整後FCFの  
創出

## 達成に向けて順調に進捗

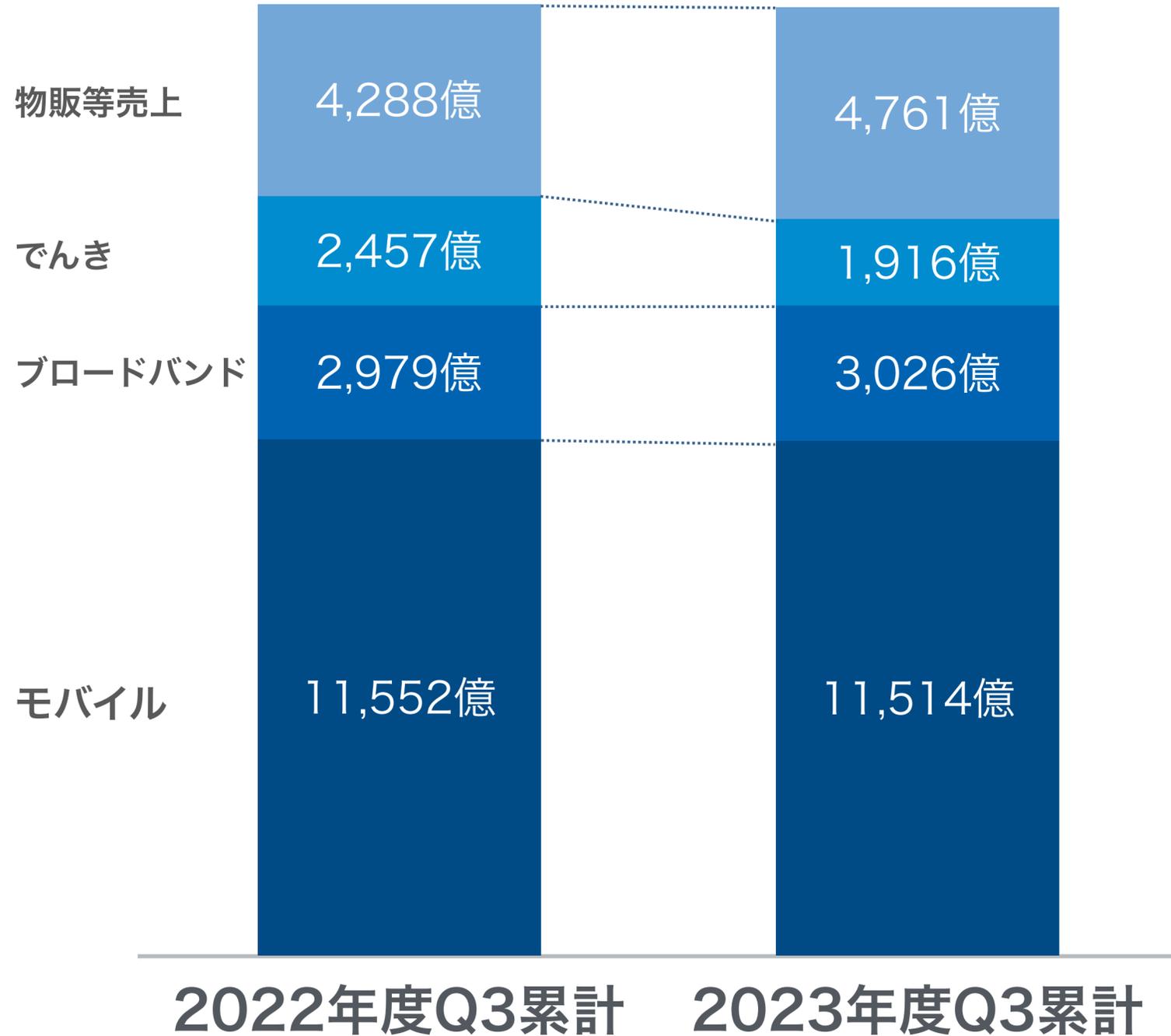
# コンシューマ 事業



# コンシューマ事業 売上高

[円]

2兆1,277億      2兆1,218億

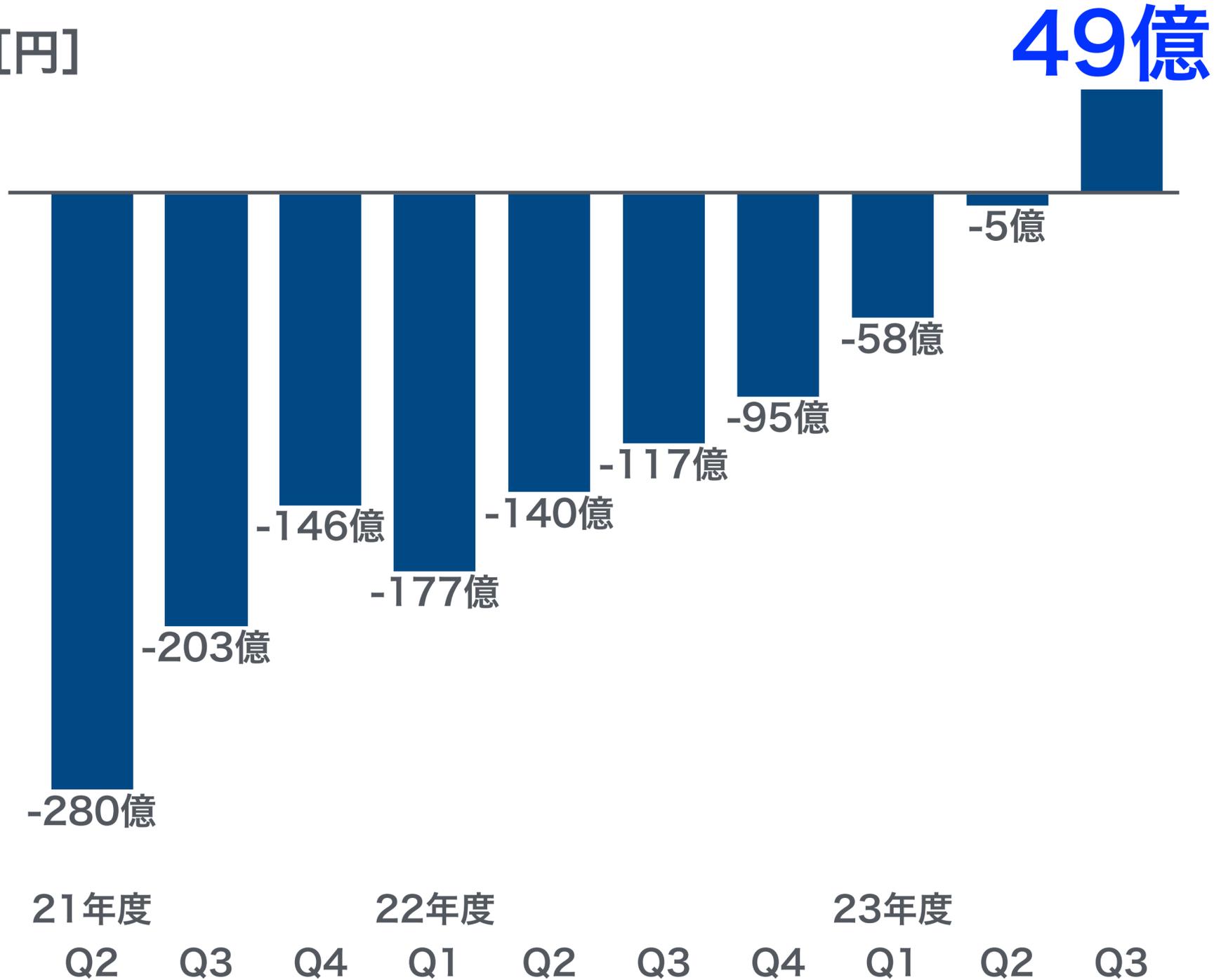


# 0.3%減収

# モバイル売上高 前年同期比

※顧客獲得施策影響、一過性要因を除く実力値

[円]

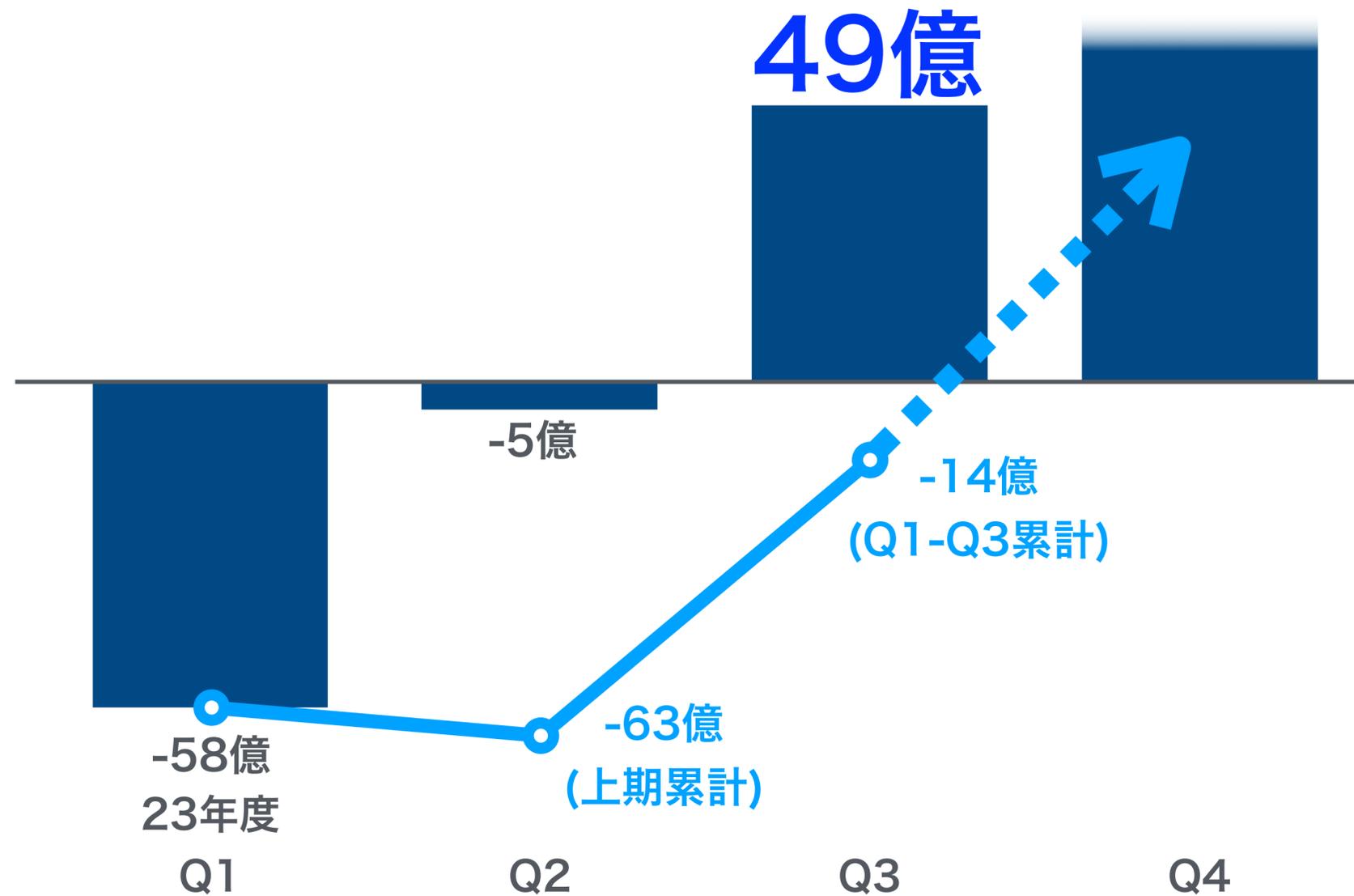


## 増収反転

# モバイル売上高 前年同期比

※顧客獲得施策影響を除く実力値

[円]



Q4も増収の見込み



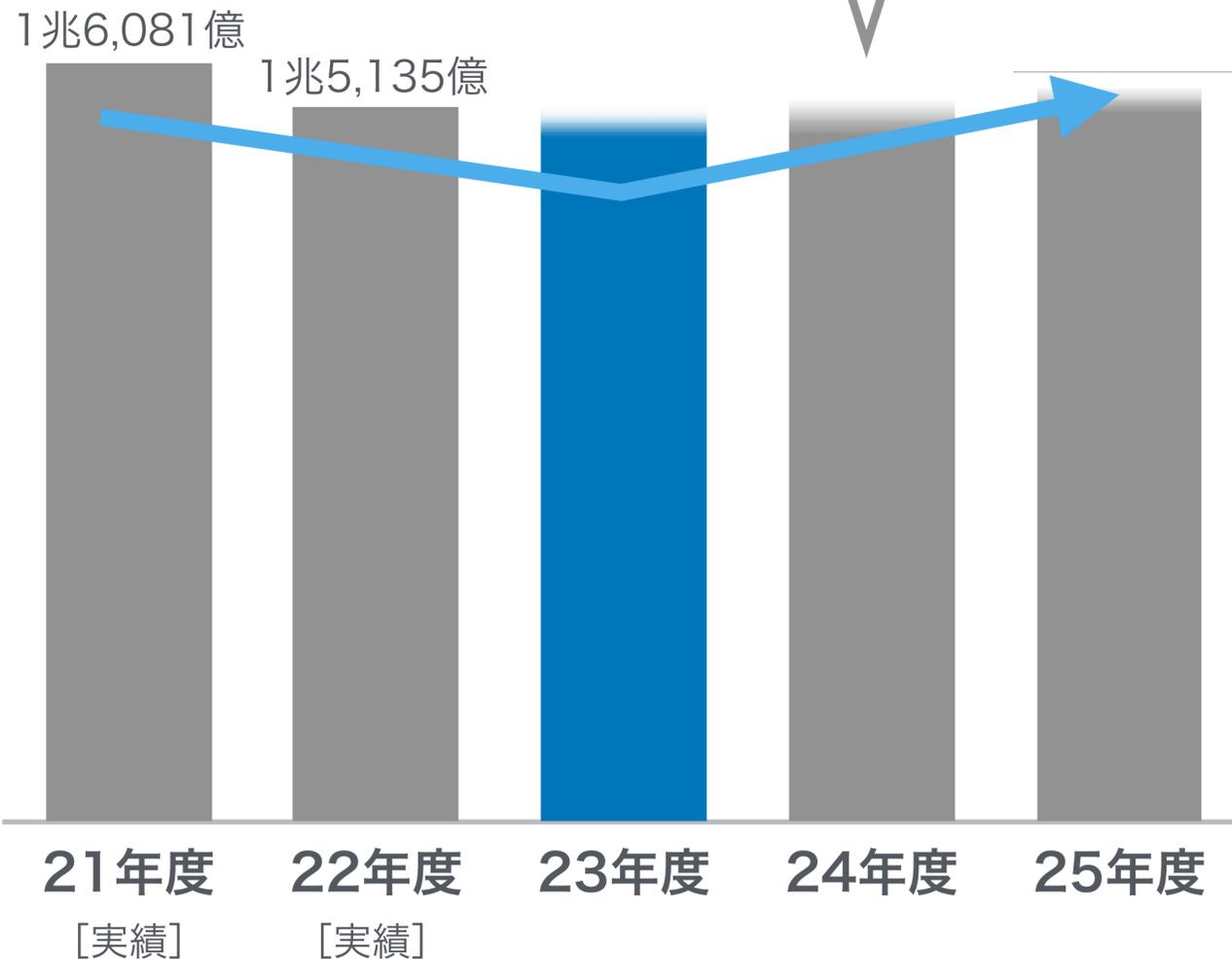
通期で反転へ

# モバイル売上高

[円]

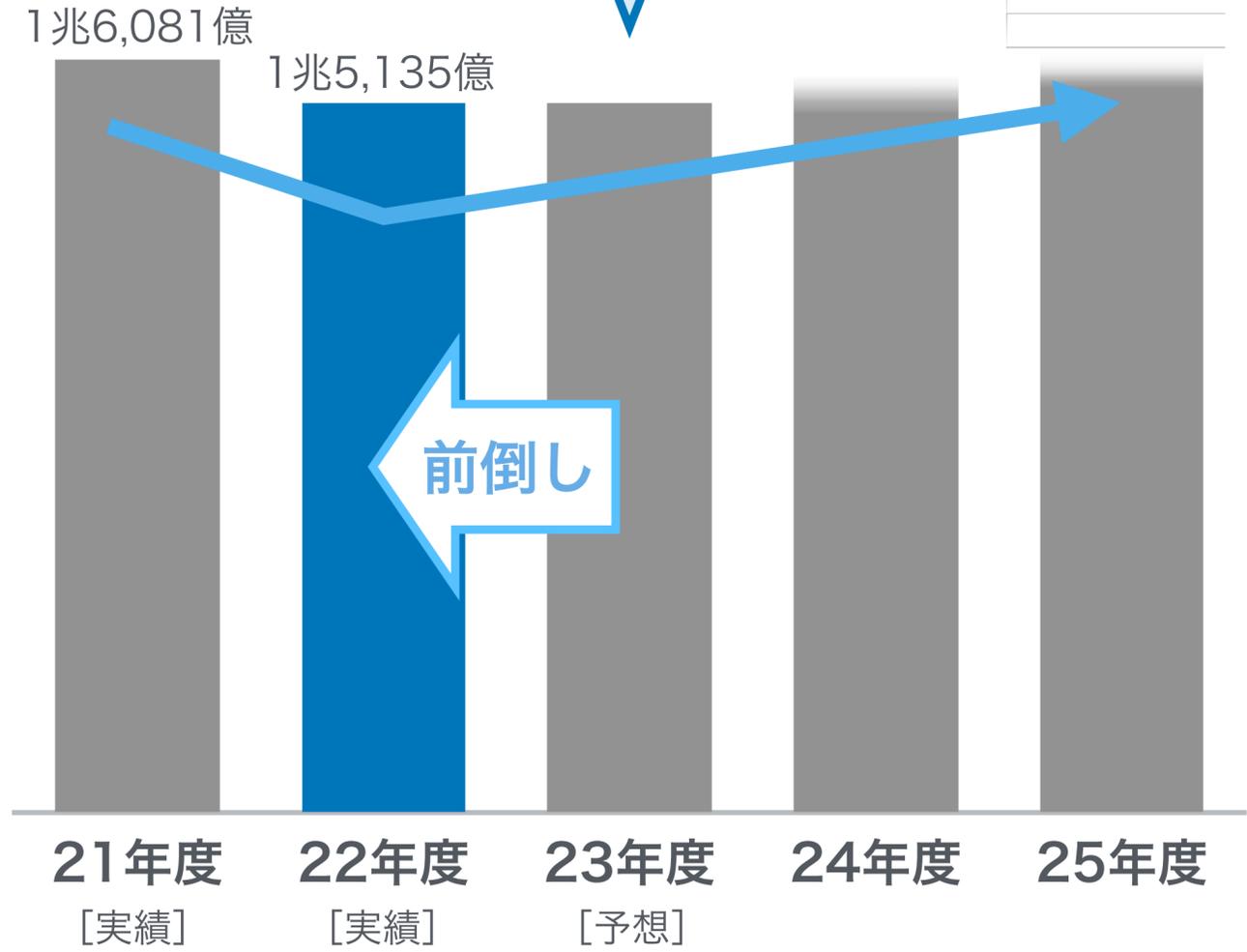
## 1年前倒しで達成へ

(2023年5月 中期経営計画発表時)  
2024年度から増収



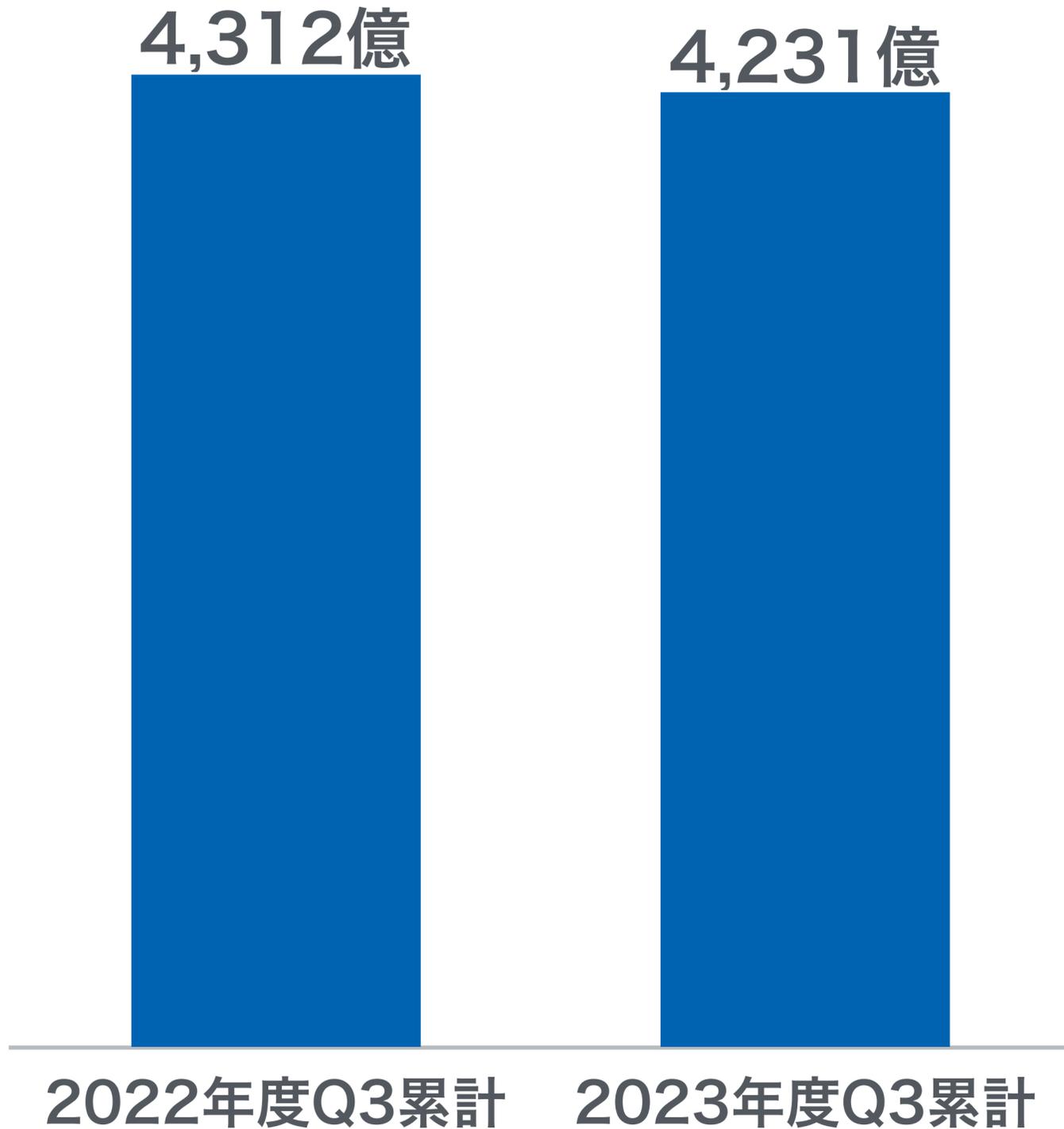
(最新予想)

2023年度から増収へ



# コンシューマ事業 営業利益

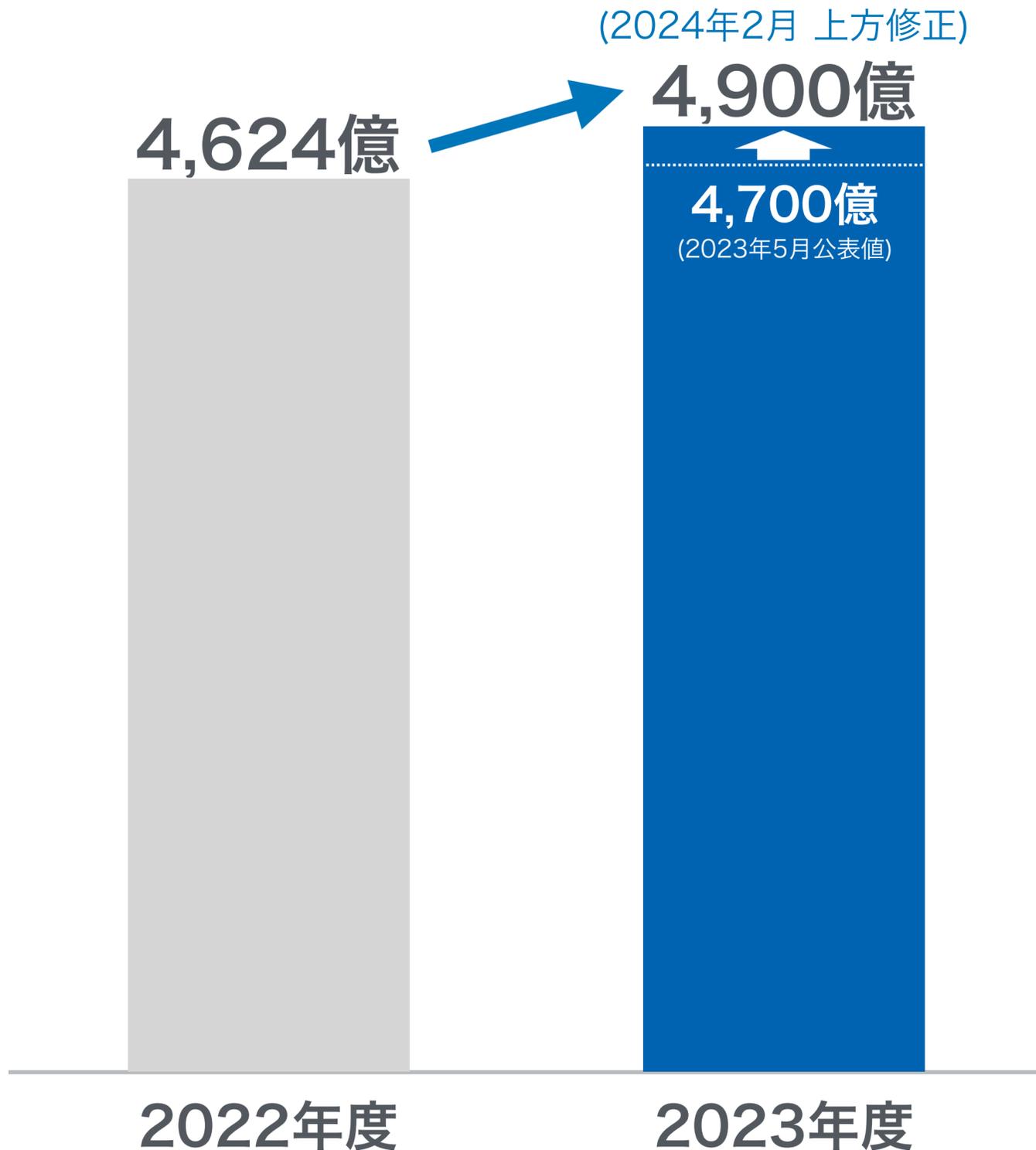
[円]



2%減益

# コンシューマ事業 通期営業利益予想

[円]



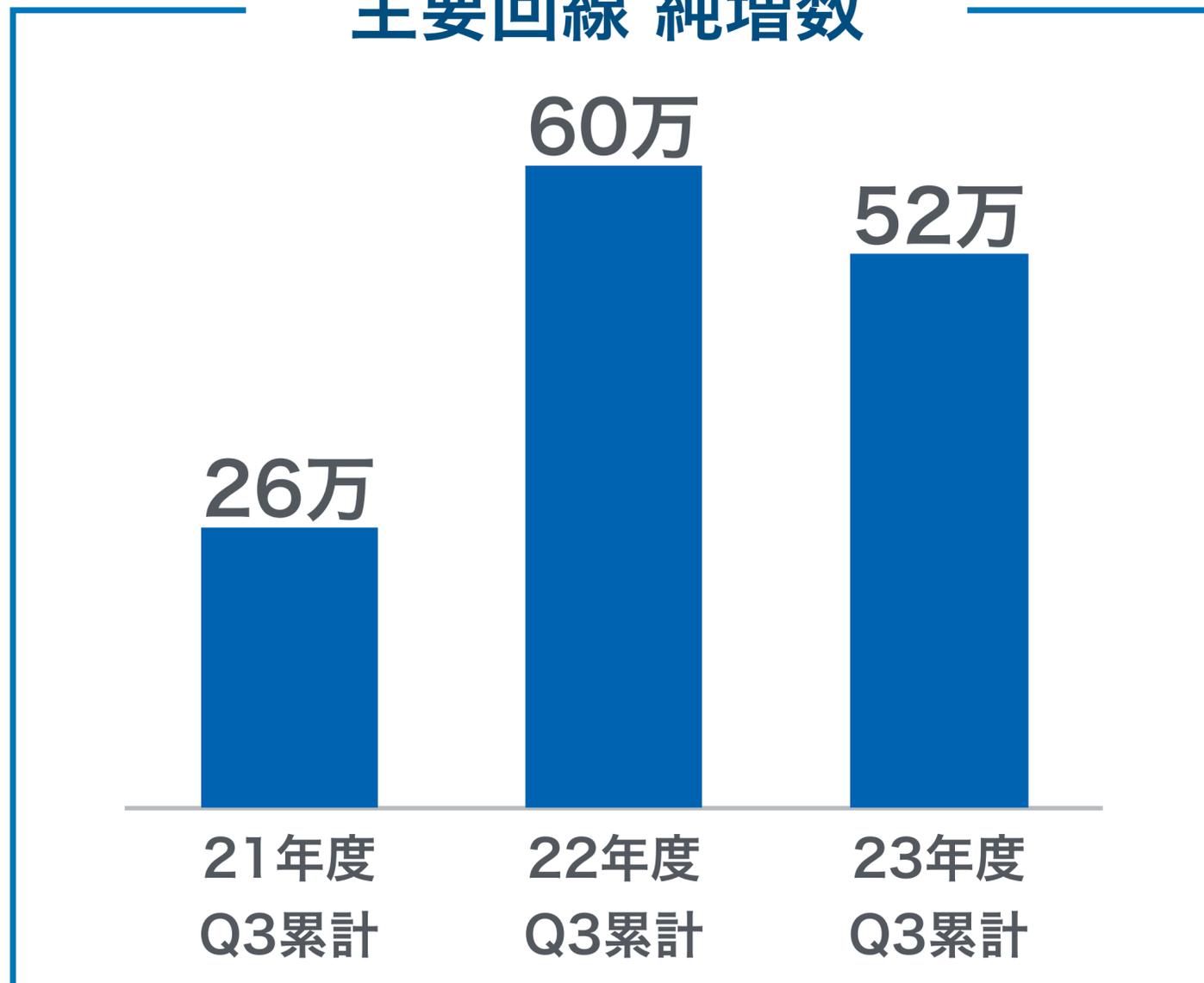
通期予想を  
上方修正し  
増益の見込み

# モバイル契約 純増数

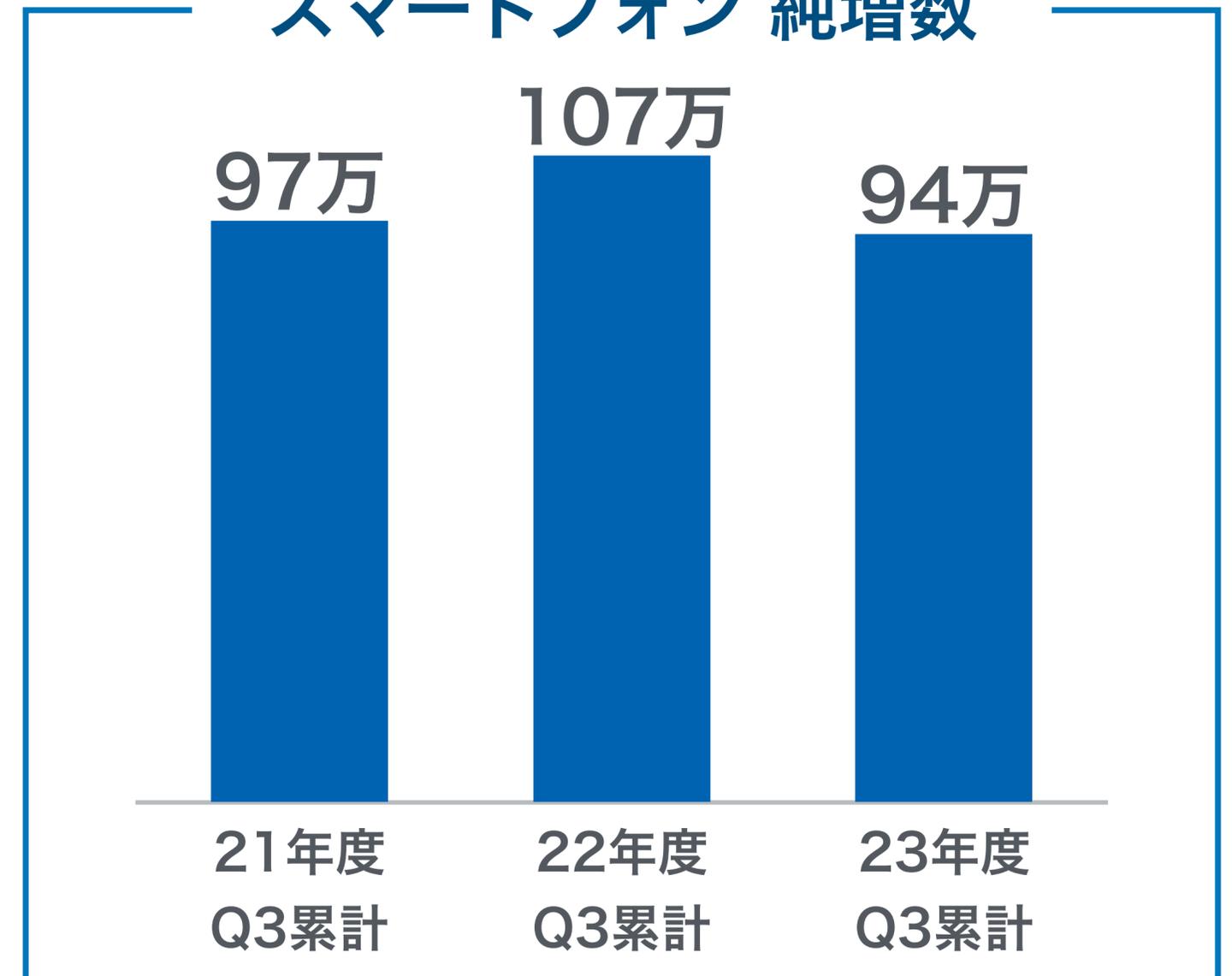
[件]

## 昨年に引き続き好調が継続

主要回線 純増数



スマートフォン 純増数

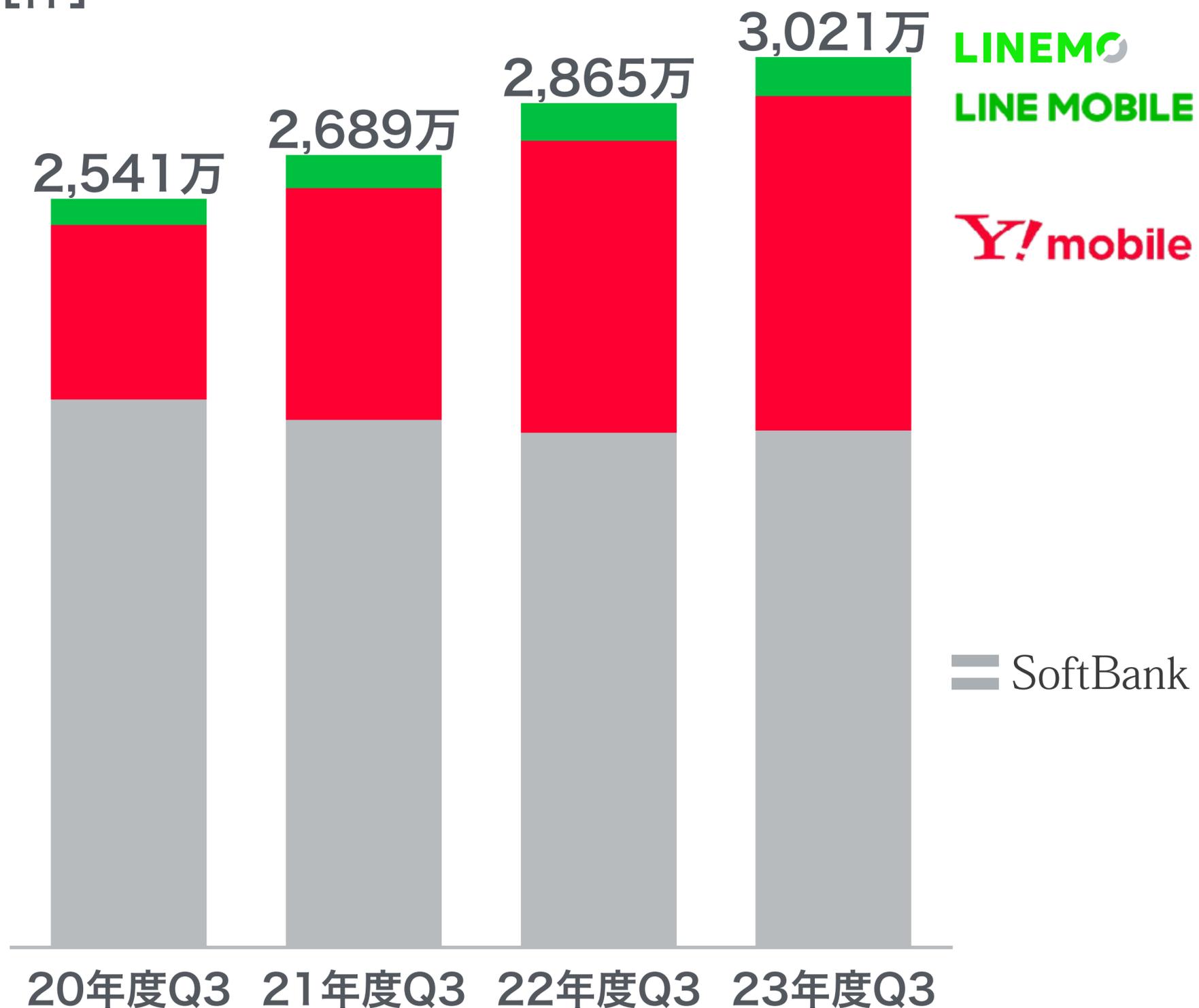


(注) 純増数：該当上期末の累計契約数－前年度末の累計契約数、主要回線：スマートフォン、従来型携帯電話、タブレット、モバイルデータ通信端末、「うちのでんわ」などの合計。法人契約を含みます。

# スマートフォン 累計契約数

SoftBank

[件]



## スマートフォン契約数

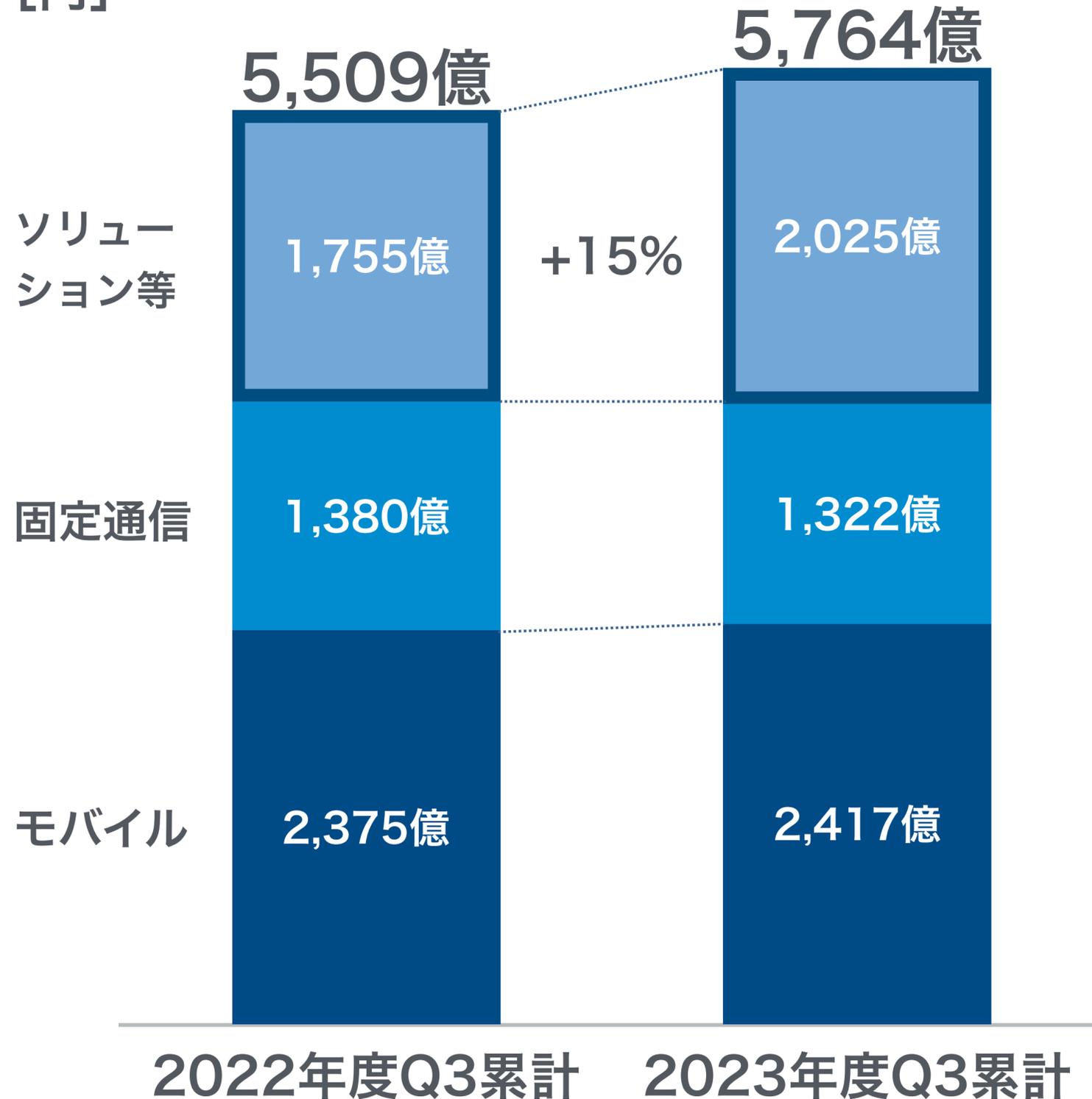
# 5%増

# エンタープライズ 事業



# エンタープライズ事業 売上高

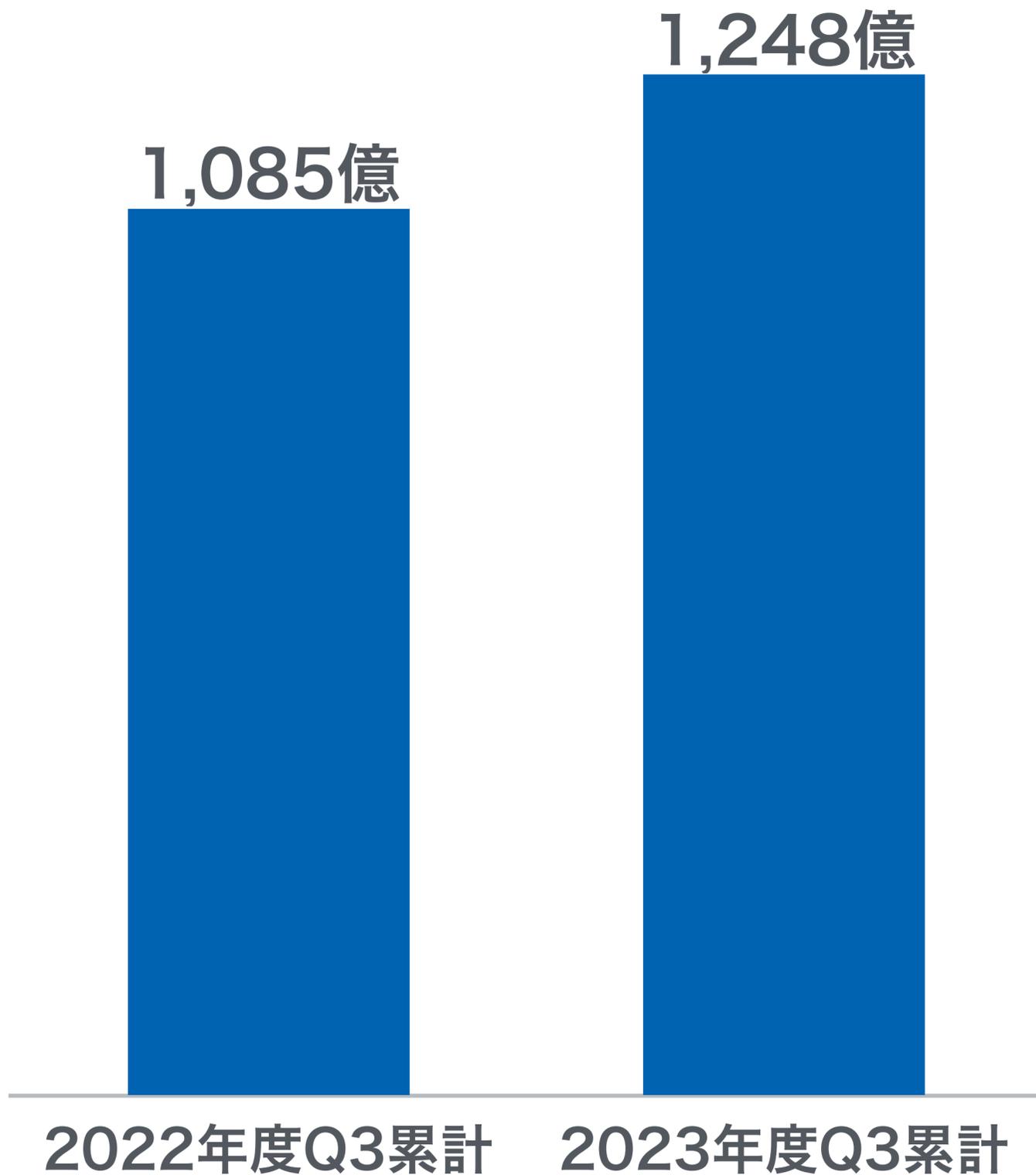
[円]



**5%増収**  
ソリューションが順調

# エンタープライズ事業 営業利益

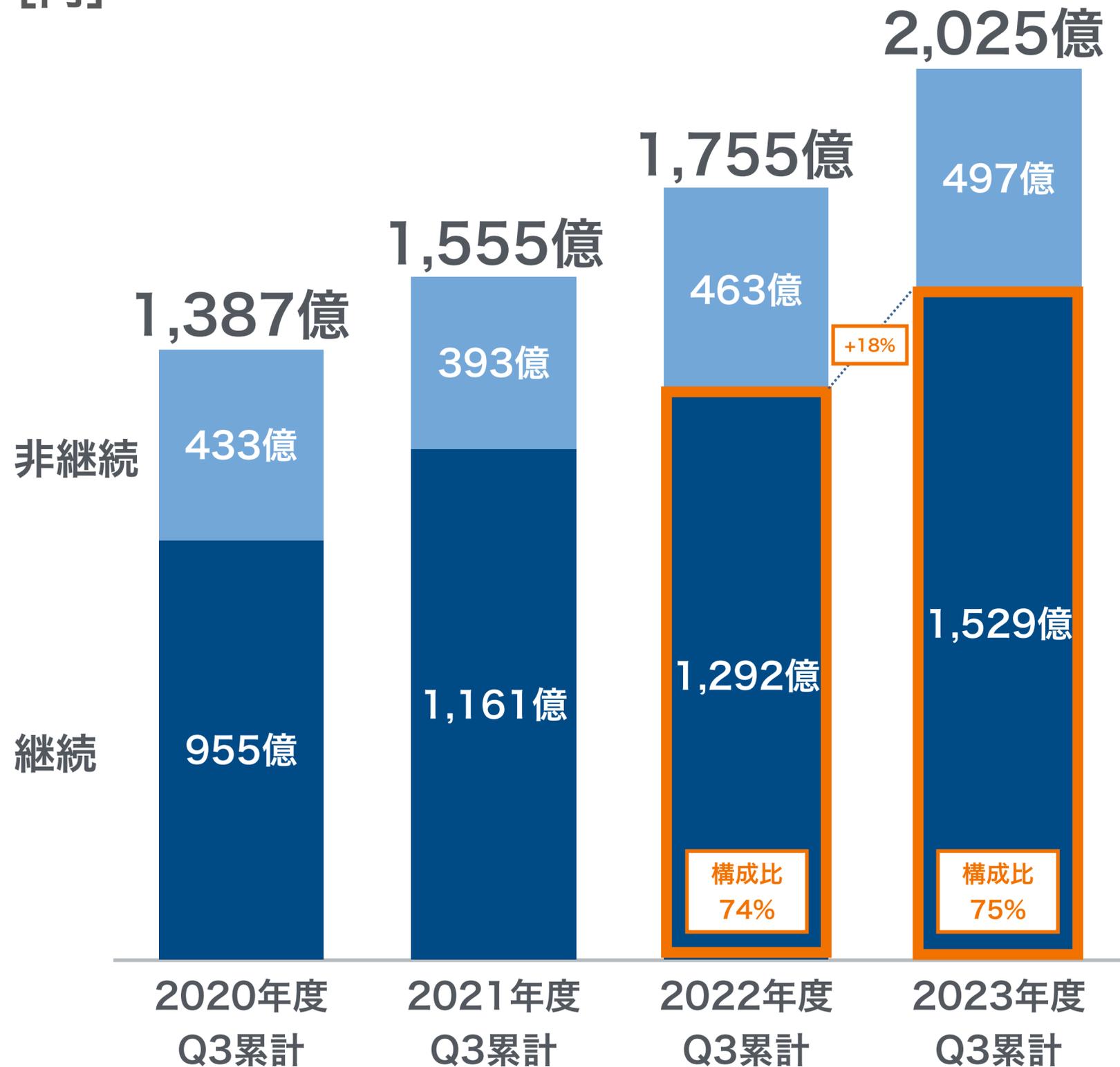
[円]



15%増益

# エンタープライズ事業 ソリューション等 売上高

[円]

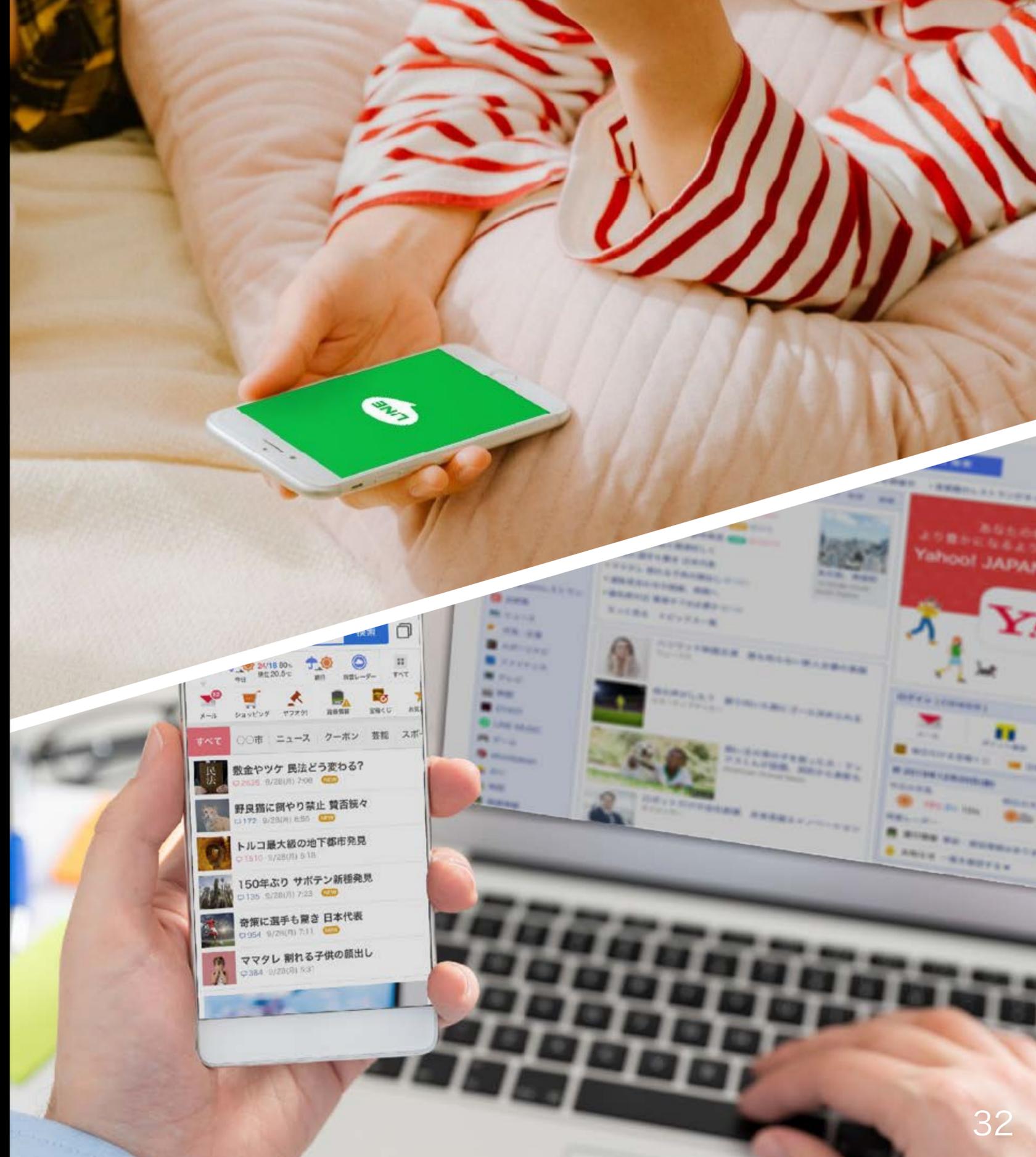


## 継続収入が 18%増収

(注) クラウド・セキュリティ・IoTなどのうち継続的な収入、データセンター・デジタルマーケティングなどの収入 31

# メディア・EC 事業

# LINEヤフー



# メディア・EC事業 売上高

[円]

戦略・その他

コマース

メディア

1兆1,696億

1兆1,995億

612億

680億

6,011億

6,102億

5,073億

5,213億

2022年度Q3累計

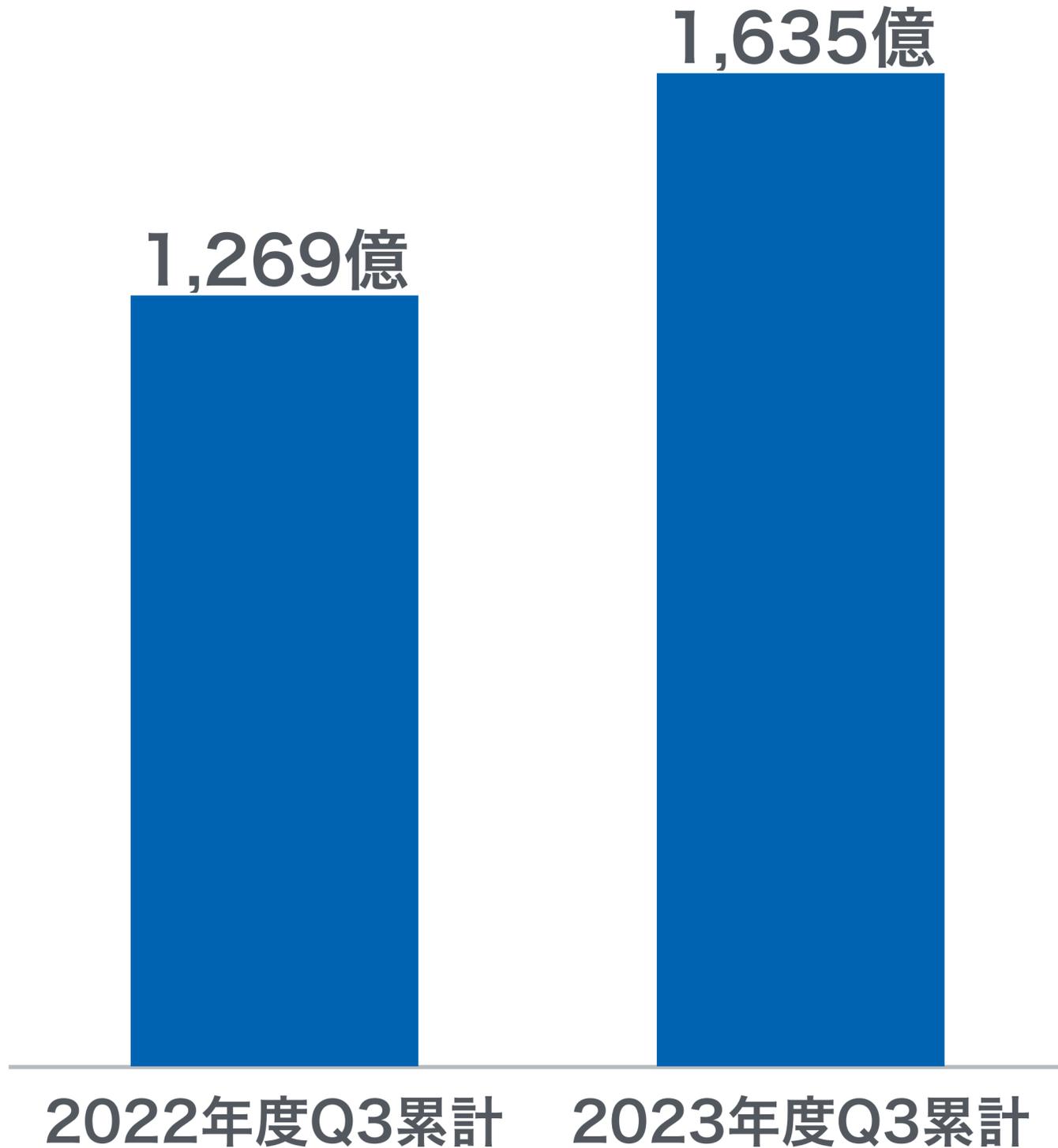
2023年度Q3累計

# 3%増収

(注) 2023年度Q1およびQ3において、LINEヤフー株式会社グループでは事業の管理区分を見直し、一部のサービスについて区分を移管しました。これに伴い、2022年度Q3累計の売上高の内訳すべてを修正再表示しています。

# メディア・EC事業 営業利益

[円]



29%増益

# ファイナンス事業

SB Payment Service

 PayPay

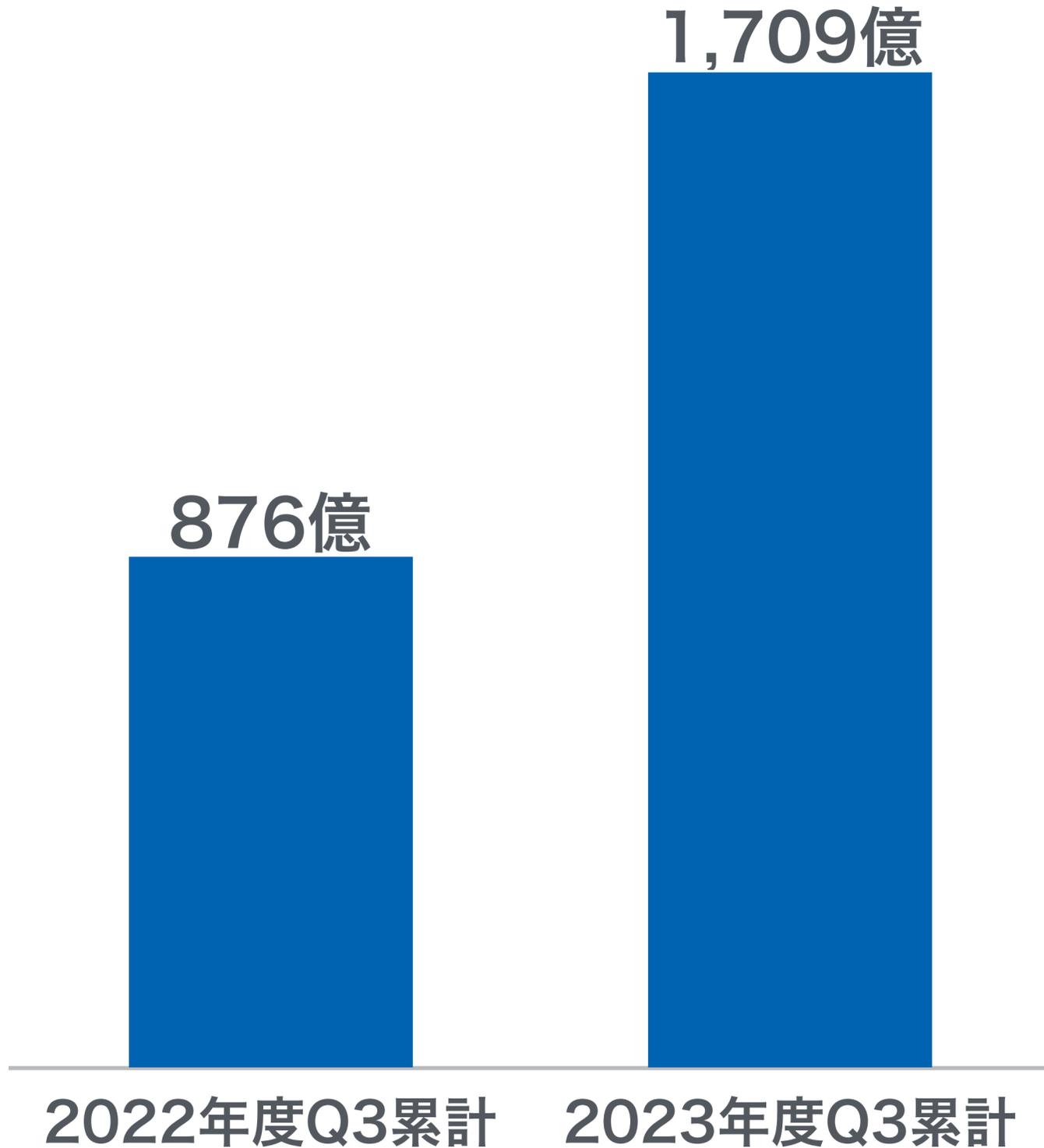
 PayPay カード

 PayPay 証券



# ファイナンス事業 売上高

[円]

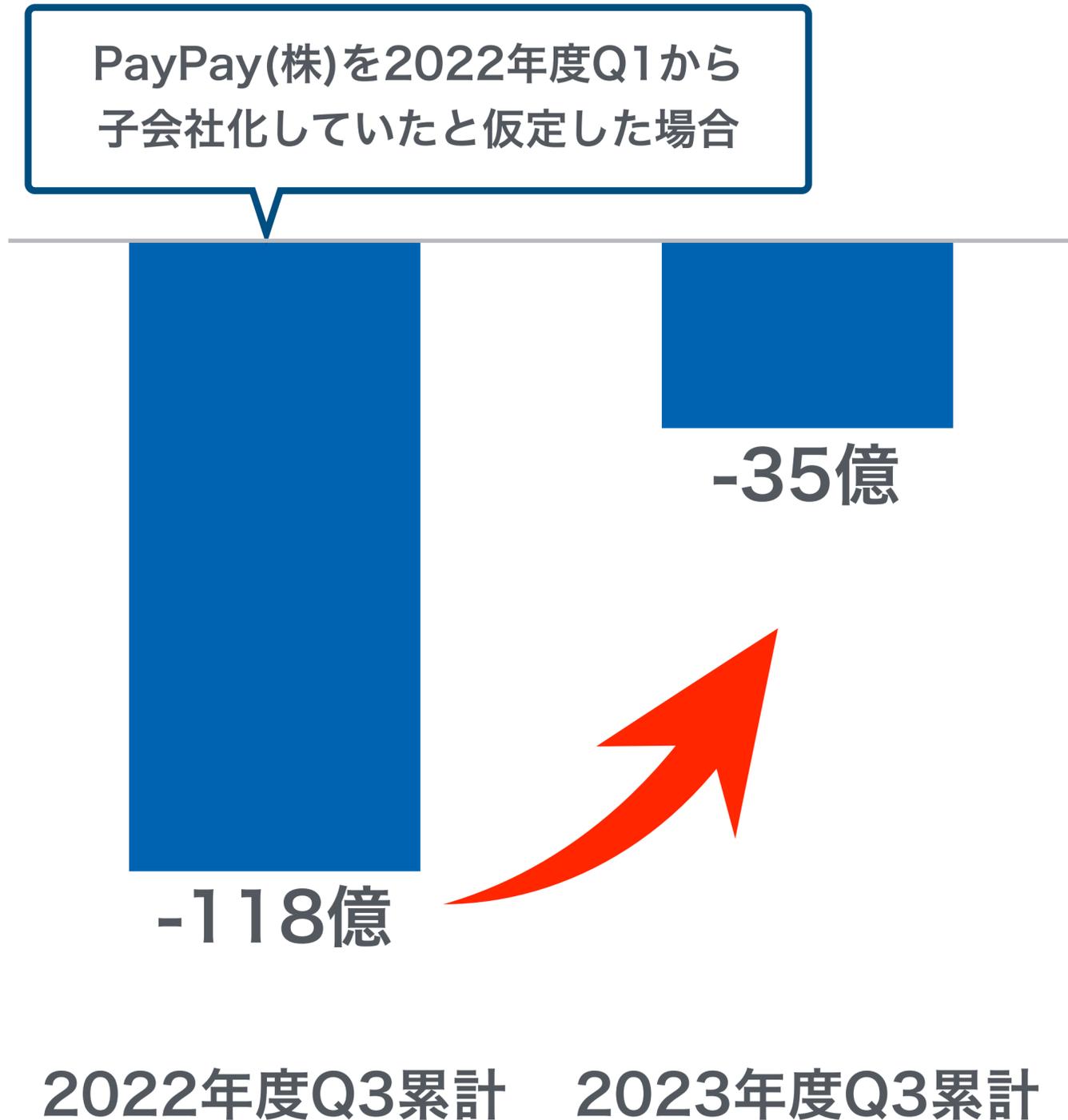


主にPayPay(株)子会社化により

**95%増収**

# ファイナンス事業 営業利益

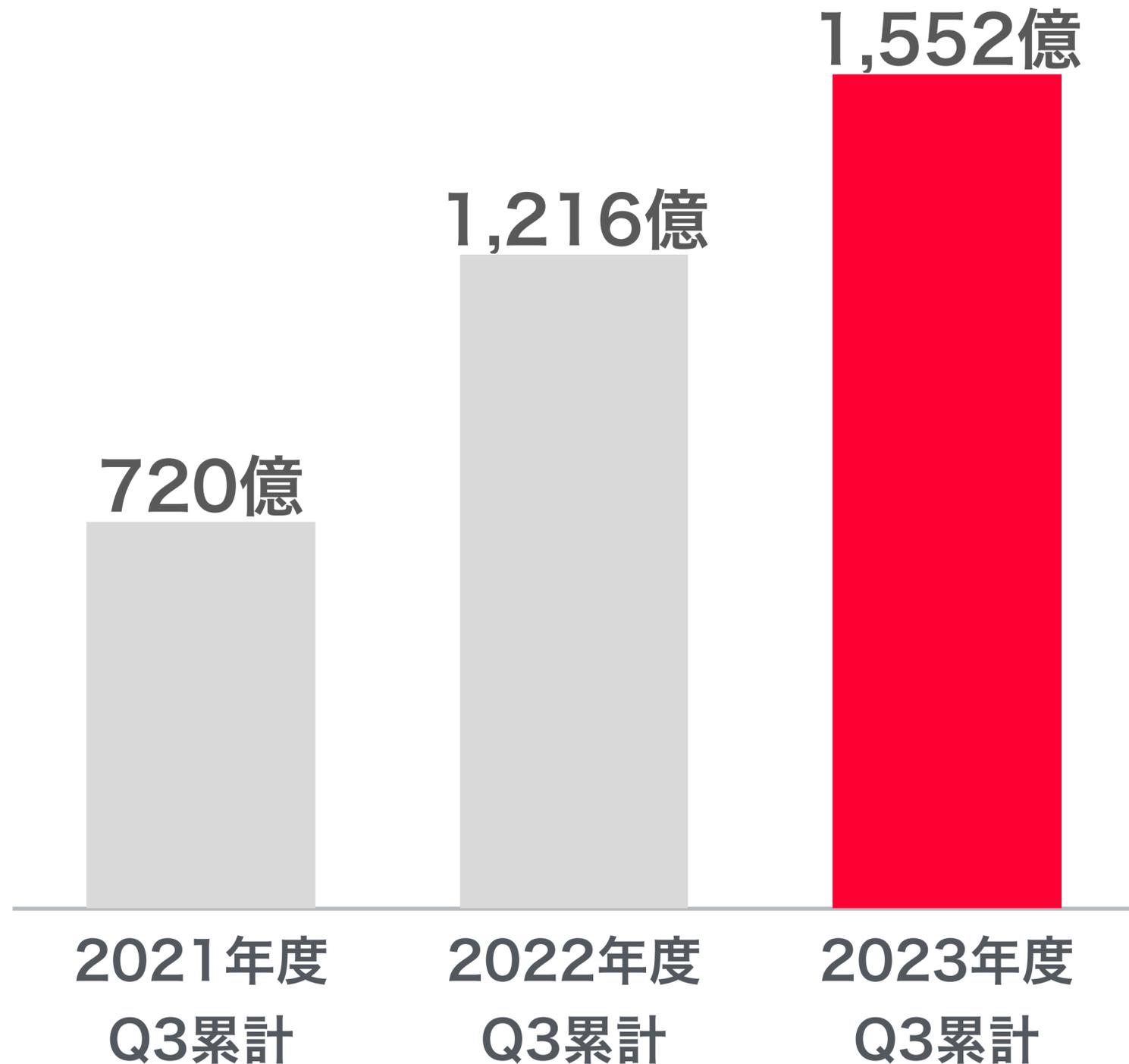
[円]



実力値では  
大幅に改善

# PayPay 連結売上高

[円]



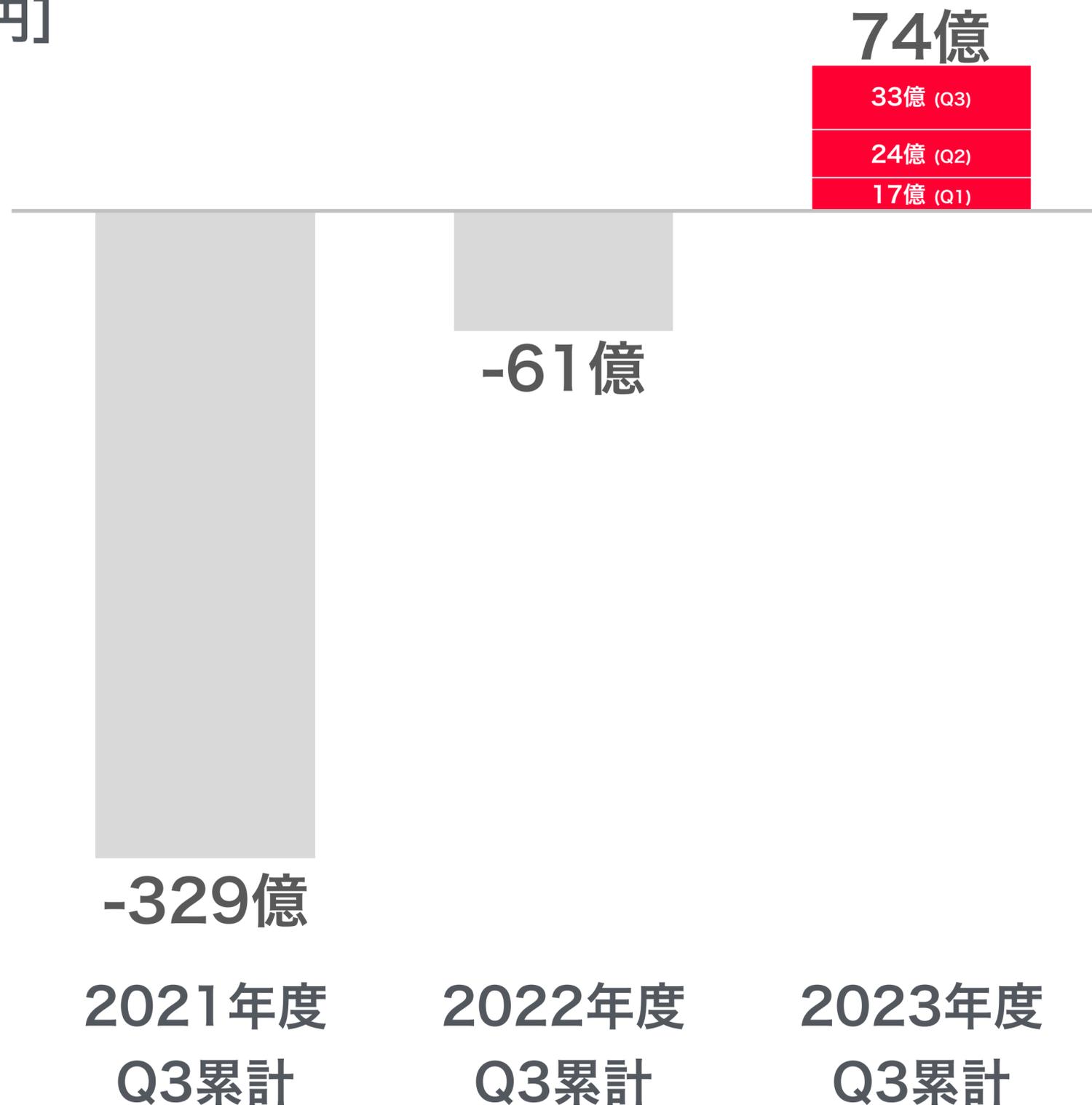
# 28%増収

(出所) PayPay株式会社

(注) 持分プーリング法の適用により、PayPayカード株式会社の財務諸表を2021年度期初から連結しています。  
連結売上高：PayPay連結(各年度9カ月分含む)、IFRS。非監査です。

# PayPay 連結EBITDA

[円]



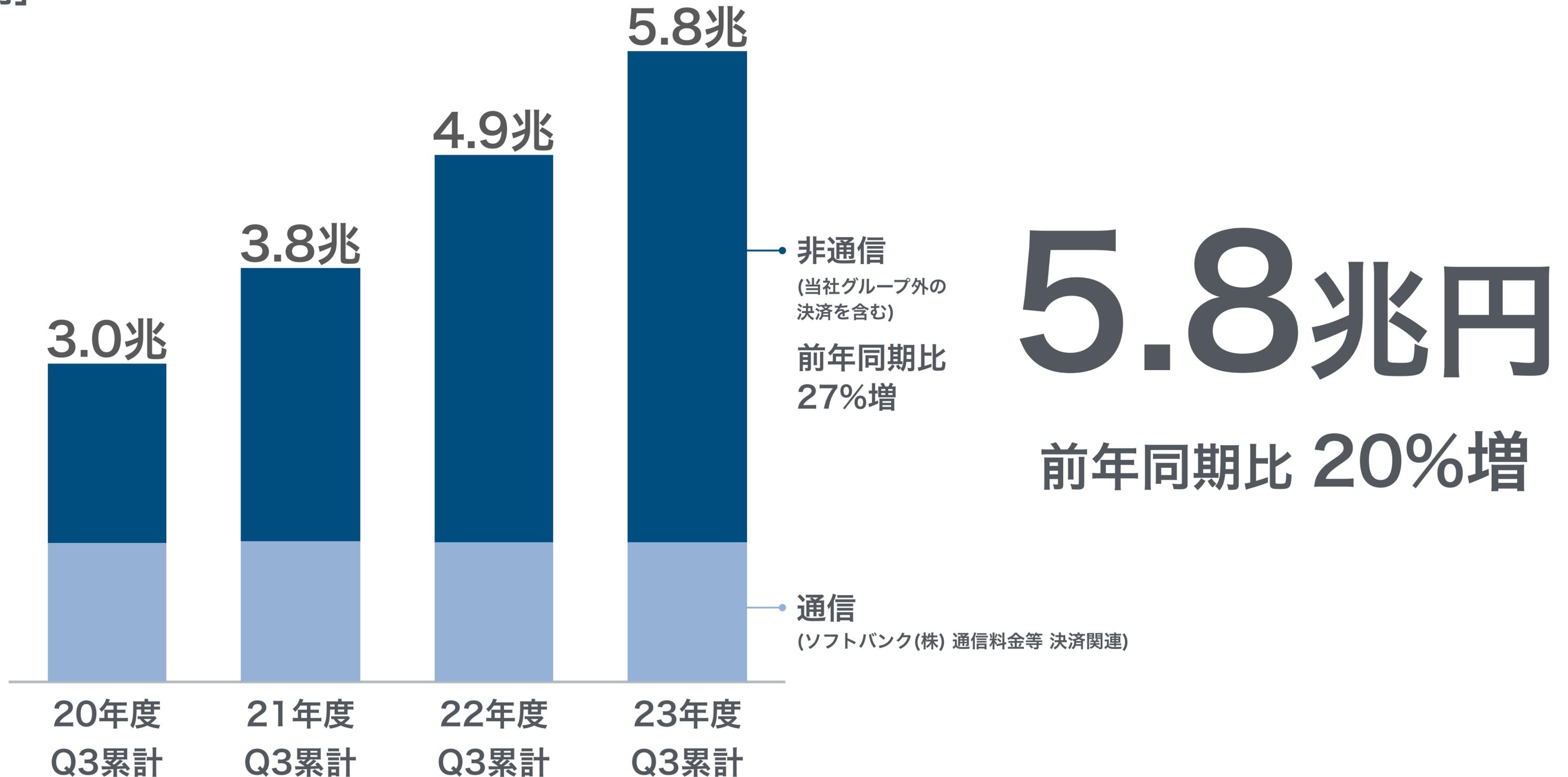
## 連結EBITDA 三四半期連続黒字

(注) 持分プーリング法の適用により、PayPayカード株式会社の財務諸表を2021年度期初から連結しています。  
連結EBITDA：PayPay連結ベース、営業利益に減価償却費および除却損を足したEBITDA(各年度9カ月分含む)、IFRS。非監査です。

(出所) PayPay株式会社

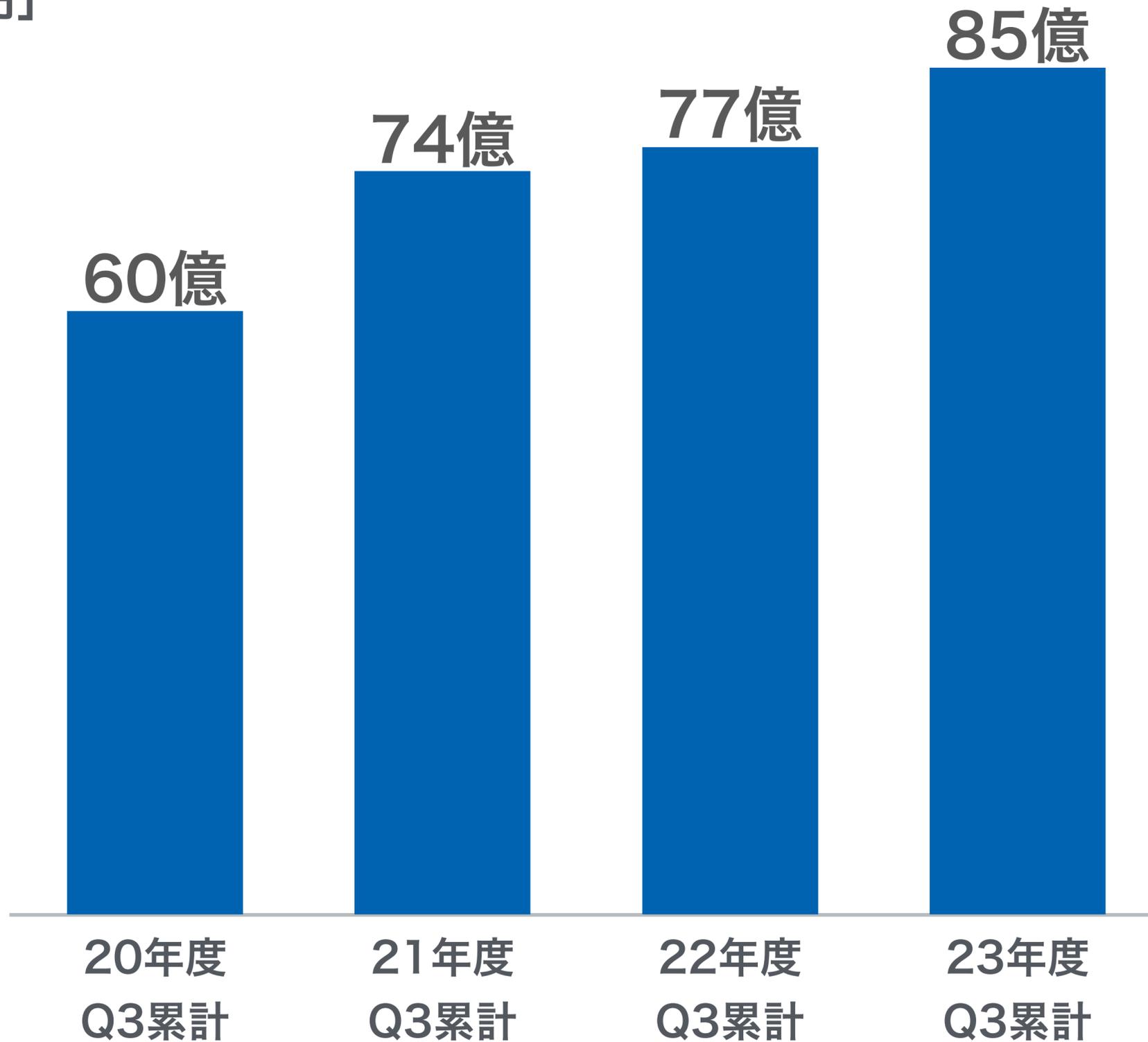
# SB Payment Service 決済取扱高(GMV)

[円]



# SB Payment Service 営業利益

[円]



10%増益

PayPay 証券 **ポイント運用 累計運用者数**

1,360万超

前年比

540万人増

66%増

820万超

2020年 12月      2021年 12月      2022年 12月      2023年 12月

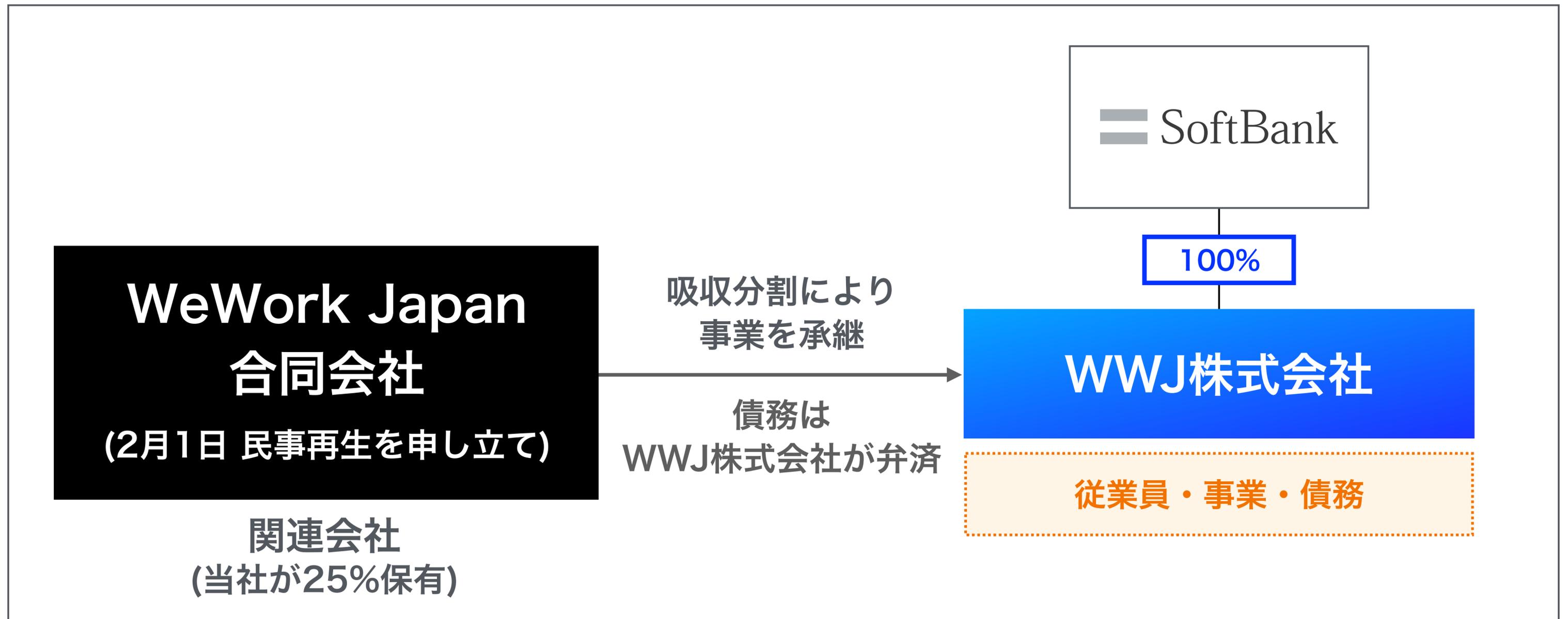
# WeWork Japan

当社完全子会社が  
事業を承継し  
さらなる成長へ



# WeWork Japanの事業承継について

## 当社完全子会社で事業を承継しサービスを継続 成長戦略を迅速に実行





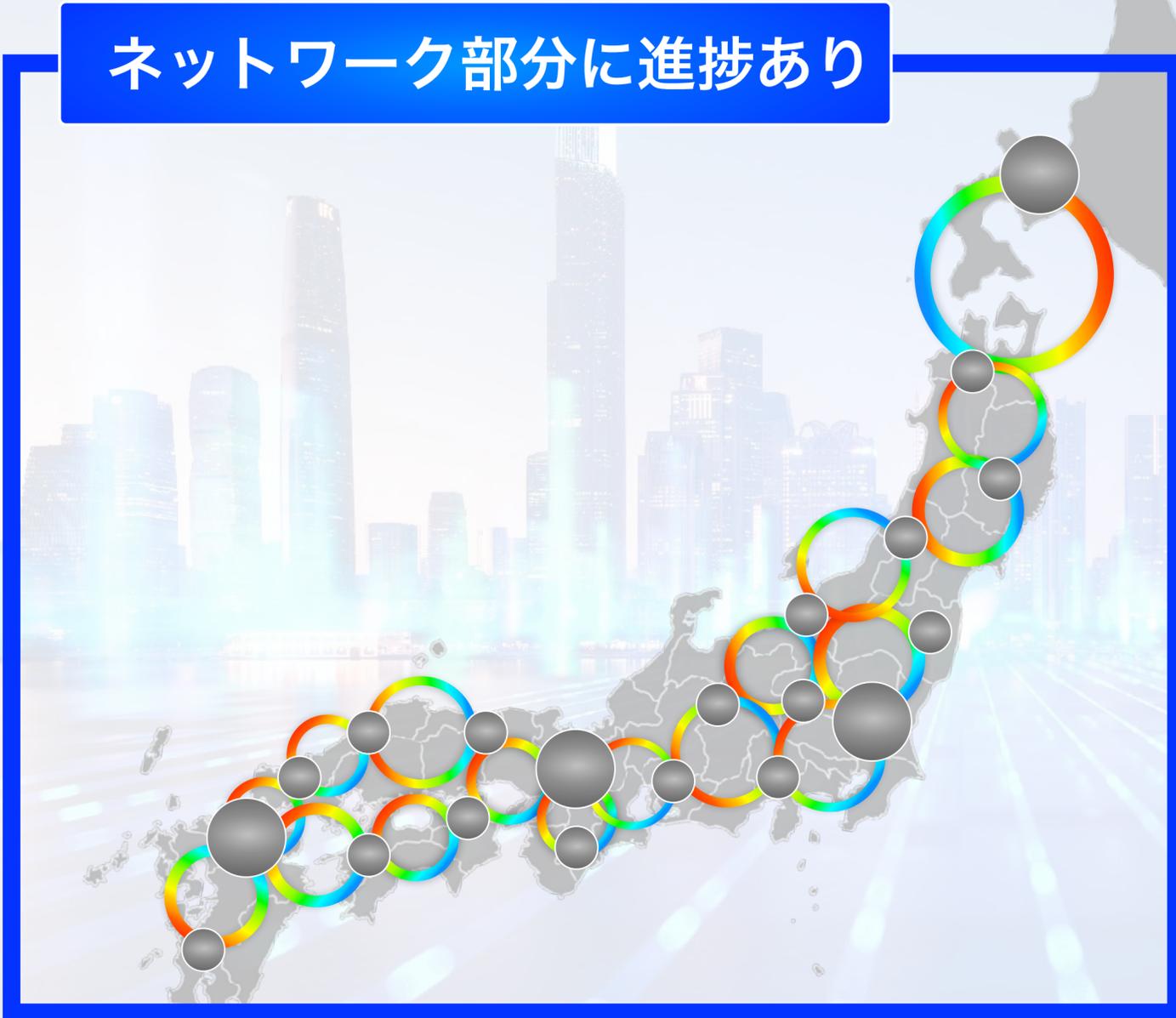
# 次世代社会インフラの 構築に向けた進捗

# 次世代社会インフラの構造 (分散型AIデータセンター)

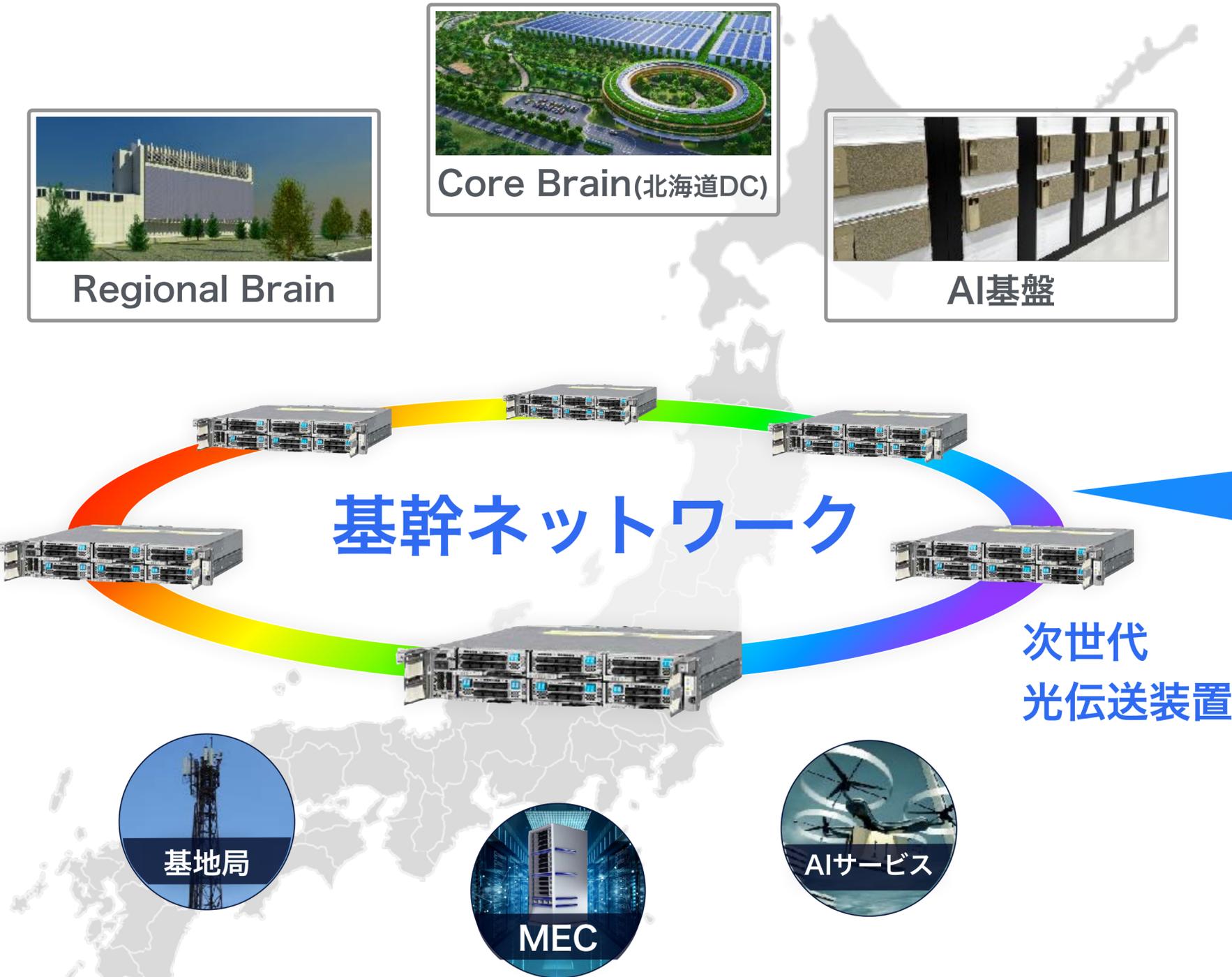


# 次世代社会インフラの構造 (分散型AIデータセンター)

ネットワーク部分に進捗あり



# 次世代社会インフラを支えるネットワーク



## 光電子結合ネットワーク (All optical network)

光技術によって  
省電力・低遅延・大容量の  
基幹NW接続を可能に

全国展開完了  
2023年10月 富士通と共同発表

# 光電子結合ネットワークによる省電力化

(All optical network)

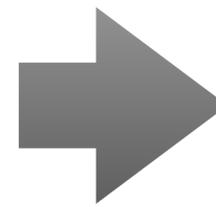
## 従来



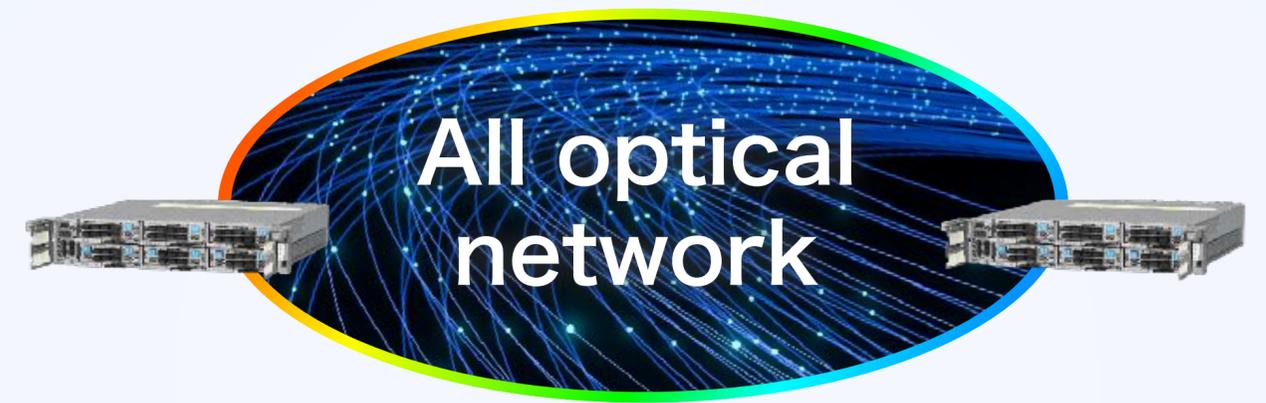
送信

受信

NW内で複数回の光電変換が必要  
エネルギーロスが発生



## All optical network

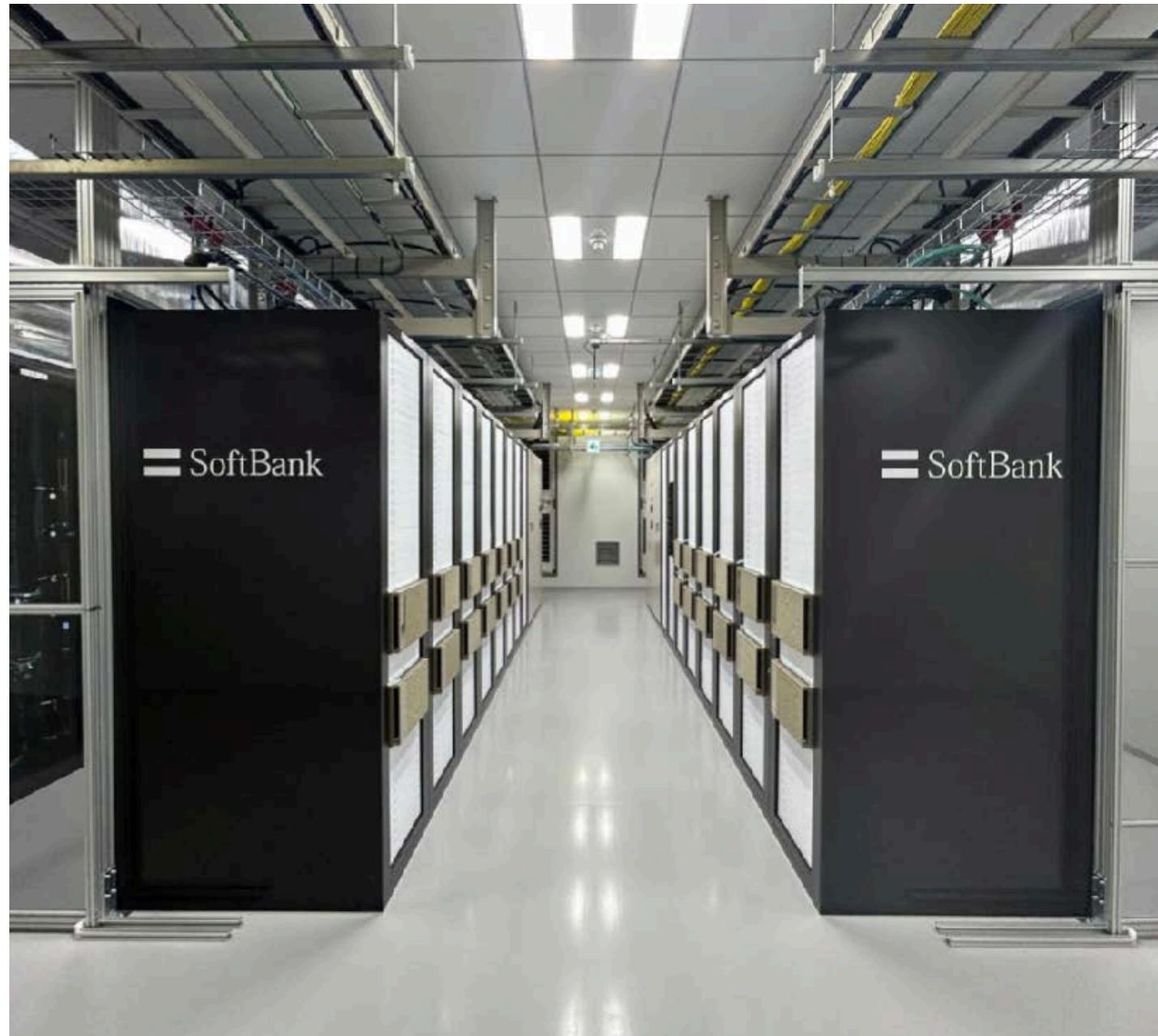


送信

受信

NW内で光電変換不要  
消費電力を大幅に削減  
(最大90%削減)

# 国産大規模言語モデル(LLM)の進捗



3,900億パラメーターの  
構築に向けて  
順調に進捗

# LLMのマルチモーダル対応

## 2024年度中の完成を目指す



符号



コーディング



3,900億  
パラメーター

# 今後の取り組みについて

3,900億  
パラメーター



マルチモーダル  
対応



計算基盤をさらに拡張し  
1兆パラメーターを  
目指す

# 注力領域と対応組織

CEO直轄(一部抜粋)

先端技術研究所
アライアンス戦略本部
デジタル社会基盤整備室
グリーントランスフォーメーション推進本部
ESG推進室
女性活躍推進委員会
iPaaS事業準備室
AIプロジェクト推進室
次世代社会インフラ事業推進室
Beyond Japan推進室

テーマ

先端技術の研究開発 <small>(6G・電池・量子コンピュータ等)</small>
外部企業との連携 / 戦略投資の企画・推進
xIPF・計算基盤の整備
グリーンエネルギーの調達
SDGs・ESG対応強化
女性活躍の推進・取り組み強化
iPaaS事業の企画・検討
AI関連の事業開発推進
次世代社会インフラの構築 <small>(北海道データセンター等)</small>
グローバル戦略推進

(注) iPaaS : Integration Platform as a Service、iPaaS事業準備室は2024年3月1日に新設予定

# Beyond Japan



# Cubic Telecomへの出資を発表 (2023年12月)

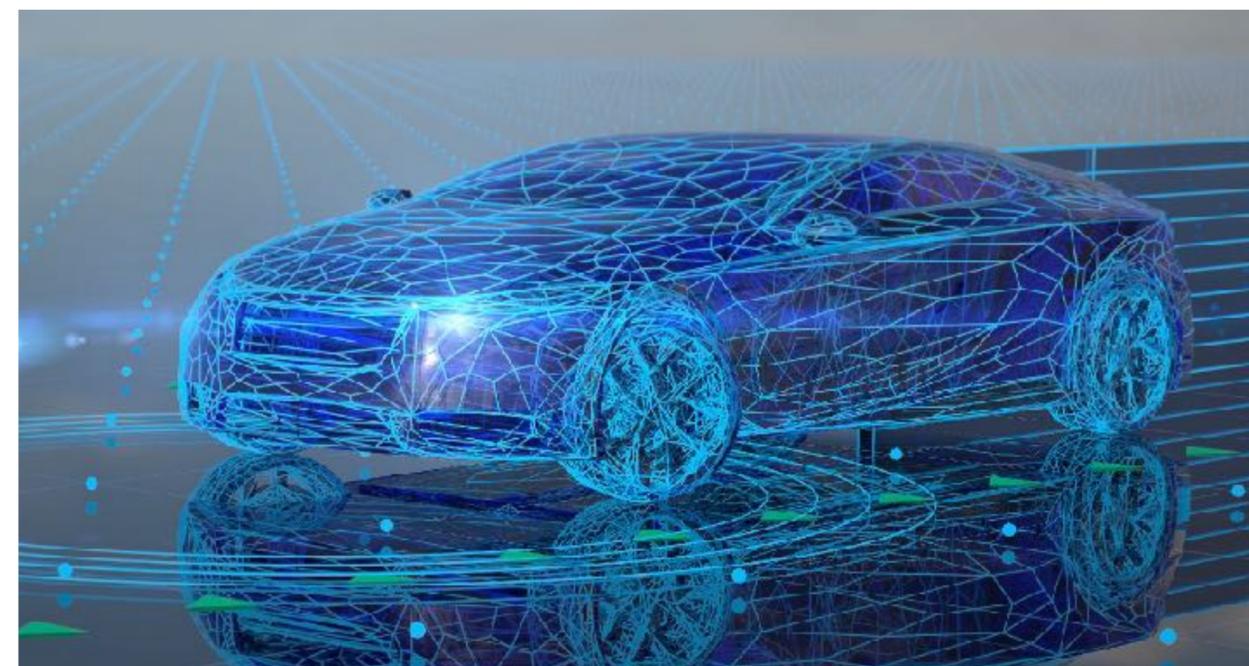
主にコネクテッドカー向けの  
グローバルIoTプラットフォームを提供

約750億円を出資

(約4億7,300万ユーロ)



株式の51%を取得し  
子会社化へ



# Cubic Telecomの特徴

- ①自動車メーカーが一元管理できる世界共通のPFを保有
- ②190カ国以上でサービス提供が可能



# グローバルの潮流

## 次世代交通インフラとの連携



## 世界共通のPFを活用し様々な事業展開を検討



+



# ESG



## 当社の位置付け

2023年12月  
2年連続で選定



	2022年度	2023年度
世界の上市企業数	6万社	
DJSIの 評価対象企業数	世界の時価総額上位 3,500社	
世界の選定企業数	333社	321社
うち日本企業数	37社	38社
うち通信業界	当社のみ (国内トップスコア)	

# 「日経SDGs経営大賞」 大賞を受賞 (2023年11月)

NIKKEI  
SDGs

大賞 2023

大賞

ソフトバンク

(国内899社中トップ)

SDGs戦略・  
経済価値賞

みずほ  
フィナンシャル  
グループ

社会価値賞

TOPPAN  
ホール  
ディングス

環境価値賞

NTT

日経SDGs経営大賞

ソフトバンク株式会社



# ESG評価 外部評価サマリー

## 最高峰の評価を複数獲得

第5回  
日経SDGs経営大賞

大賞

NIKKEI  
SDGs

大賞 2023

脱炭素経営  
ランキング GX500

第1位



DJSI World

2年連続  
選定

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
Powered by the S&P Global CSA

MSCI ESG格付

AAA

MSCI  
ESG RATINGS



CCC | B | BB | BBB | A | AA | **AAA**

# まとめ

1 通期業績予想を上方修正

2 モバイル売上高が反転。通期でも1年前倒しで増収へ

3 中長期的な成長に向けた取り組みが進展

「次世代社会インフラの構築」 「Beyond Japan」

4 ESGで高い外部評価を獲得



# 情報革命で 人々を幸せに



＝ SoftBank



SoftBank